

2022年3月期 第3四半期
決算プレゼンテーション資料

2022年2月

目次

0 1	IT金融グループに向けた取り組み・方針	03 - 14
0 2	決算概況	15 - 33
0 3	ライフカード決算概況	34 - 40
0 4	グループ各社の決算概況	41 - 46
0 5	参考資料	47 - 55

01

IT金融グループに向けた 取り組み・方針

環境変化に応じた組織・制度の変革と
デジタル技術の活用により、

IT金融グループとして成長を遂げる。

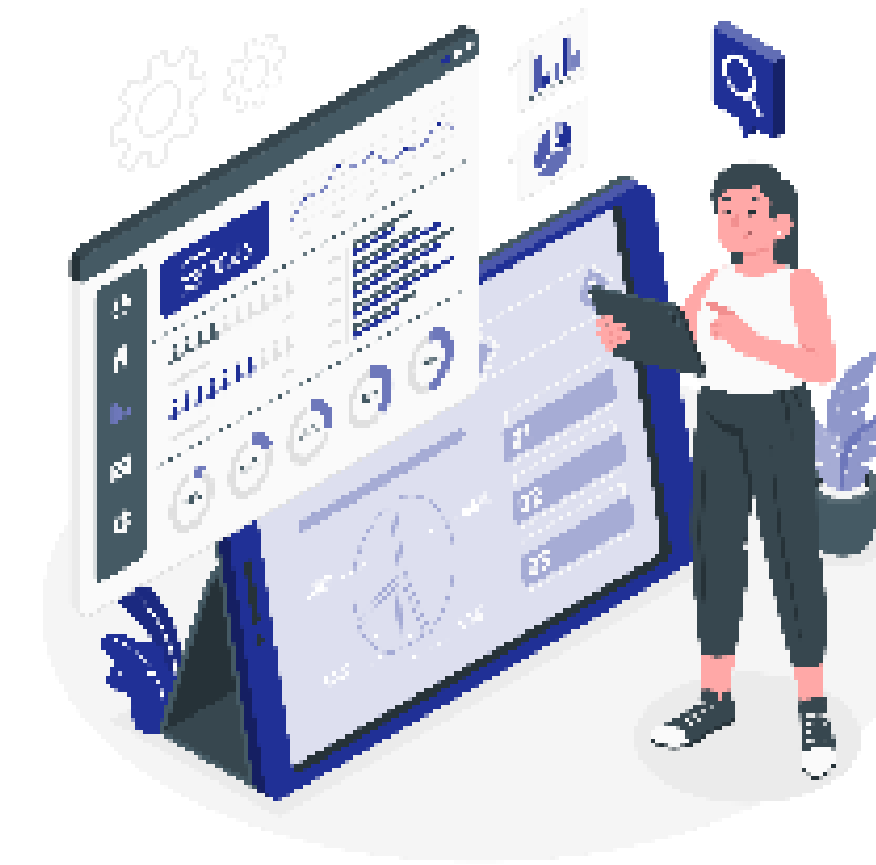
IT金融グループに必要な3つのスキル



デザイン

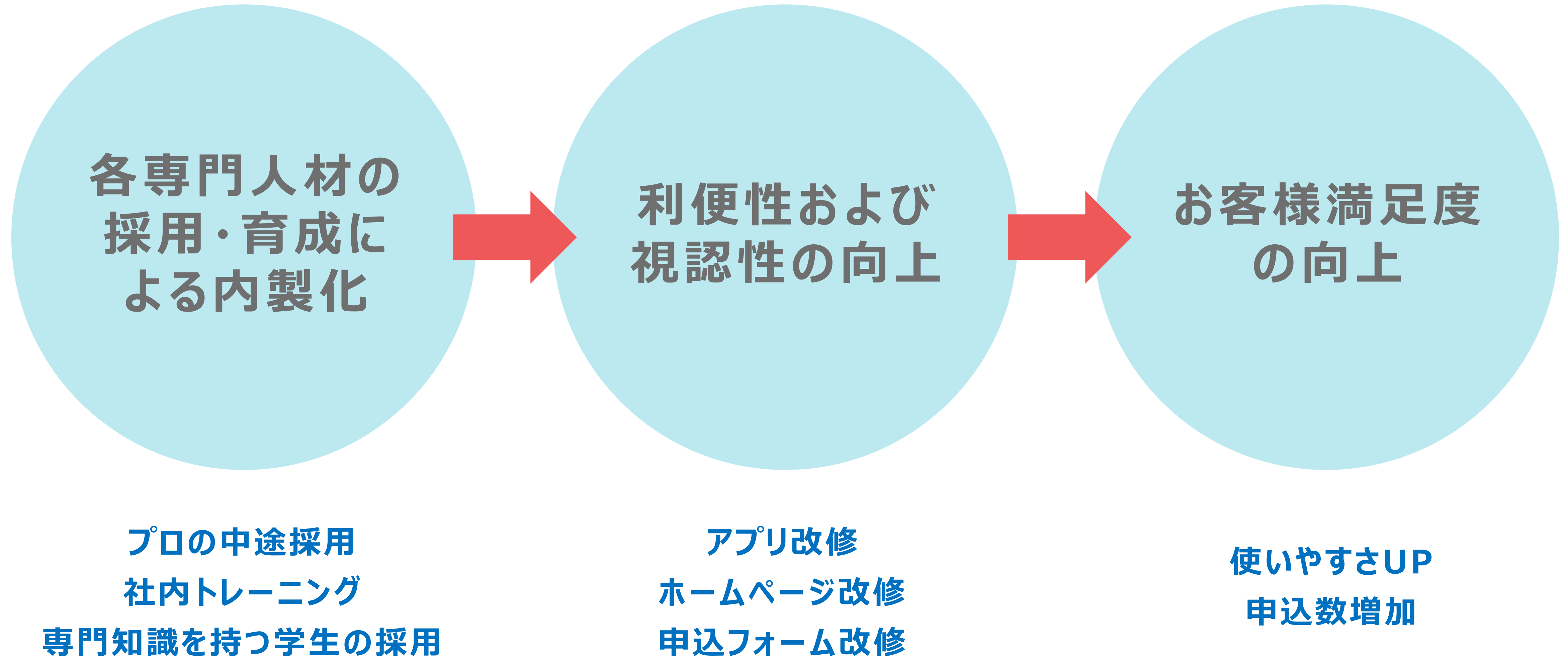


デジタル推進



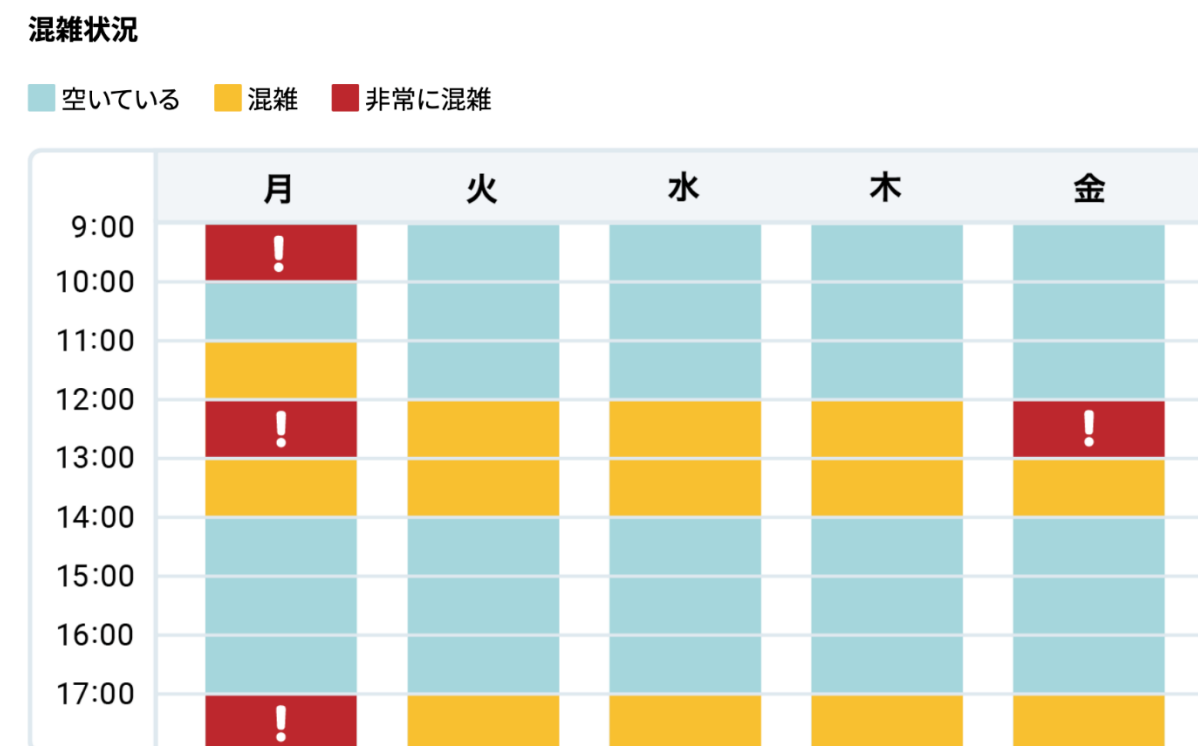
データ分析

IT化に向けた戦略

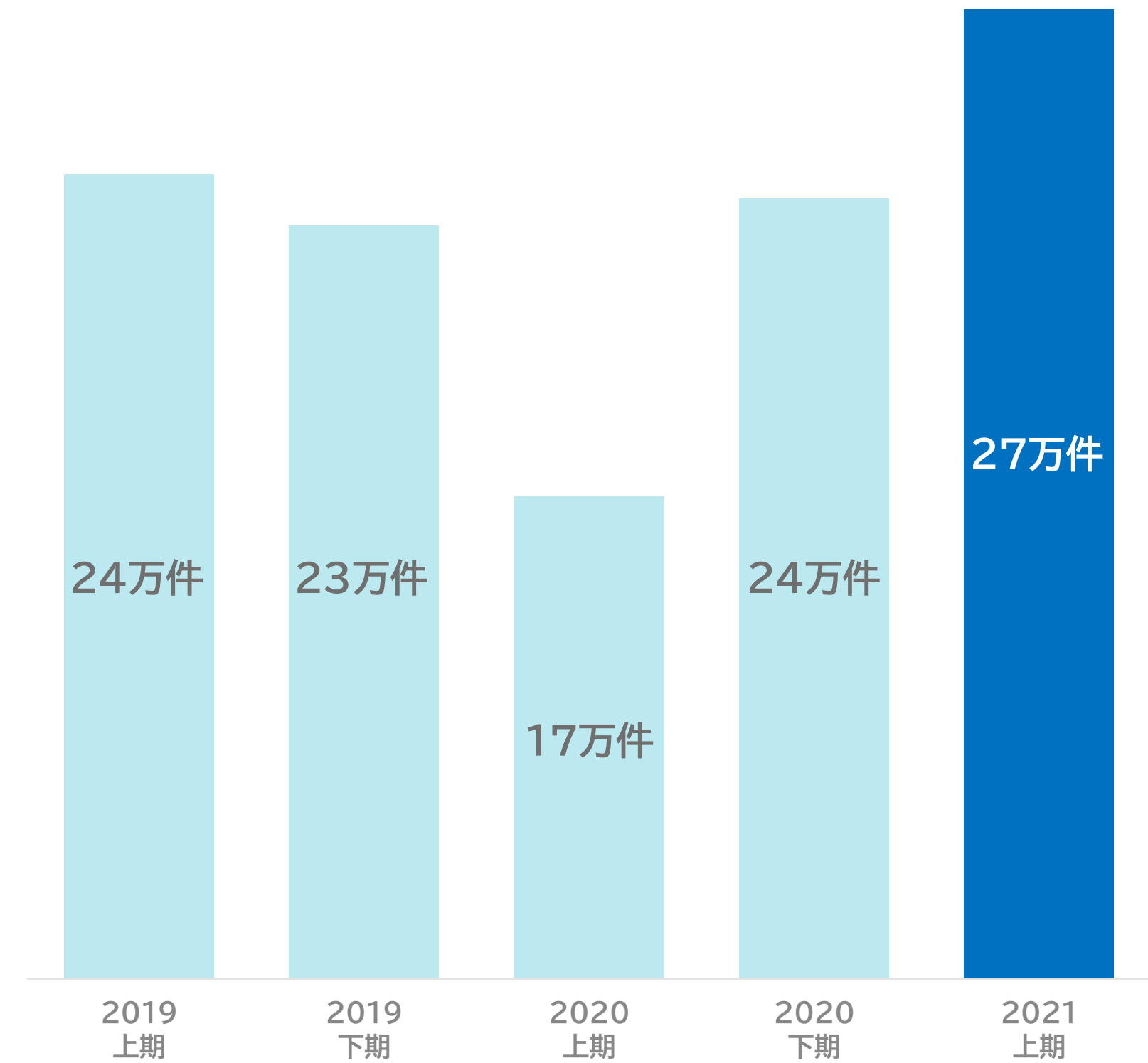


内製化による実績・効果（アイフル）

公式サイトやアプリを改修



申込数が増加



内製化による実績・効果（ライフカード）

若手社員を中心にデザイン制作



Life CARD ライフカード株式会社

新規入会プログラムで最大10,000円相当プレゼント [詳しくはこちら](#)

学生専用ライフカード

海外でのショッピング利用額の
3% キャッシュバック!!

※年間最大キャッシュバック100,000円

年会費無料

お申込みは
コチラ

学生専用ライフカードのココがスゴい!

- 海外でのショッピング利用額3%をキャッシュバック!(年間最大100,000円!)
- 海外旅行傷害保険が自動付帯で最高2,000万円まで補償!
- ポイントがたまりやすいプログラム!



Life CARD

ビジネスパートナーローン

個人事業主さま限定

ライフカードはお客さまの事業を応援します! / 事業資金のご融資案内

- ・年収の1/3を超える融資も可能
- ・まとまった事業資金のニーズに

ポイントが年会費か社会貢献か いや、全部だ。

チームの増員・育成を強化



若年層の会員数増加・稼働率UPを見込む

アイフルグループにおける安全性・収益性・成長性の指標

		指標	2021年12月末時点
安全性	自己資本比率	20%	17.2%
	ROE	10%超	15.8%
収益性	ROA	2%超	2.8%
	営業アセット	年間 10%成長	前年同期比 +7.8% (8,677億円)
成長性			

トピックス

「プライム市場」移行の決定



株式会社東京証券取引所より2022年1月11日付で新市場区分の選択結果が公表され、同年4月4日よりプライム市場に移行することが決定

JCR 2ノッチ格上げ（2021年12月）

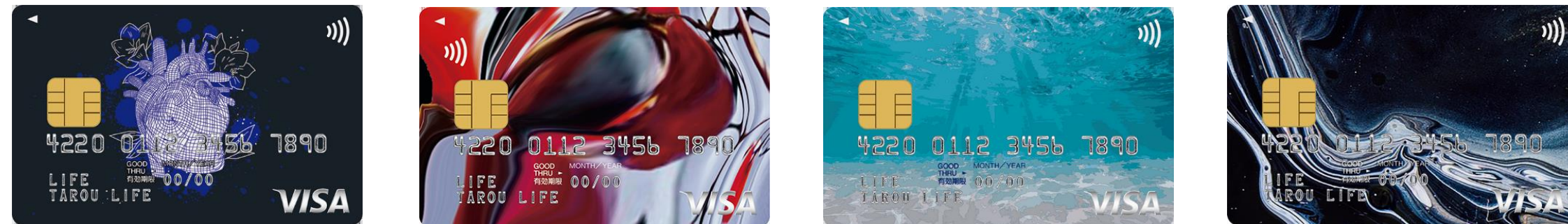
	変更前	変更後
発行体格付	BB+	BBB
格付けの方向性	ポジティブ	安定的
債券格付	BB+	BBB

R&I 2ノッチ格上げ（2021年10月）

	変更前	変更後
発行体格付	BB	BBB-
格付けの方向性	ポジティブ	安定的
短期格付	b	a-2

トピックス

<限定デザイン> ライフカード新カード募集開始



『CRえぺまつり』とのコラボVプリカ発売



HYDE×LifeCARD NEWビジュアルVプリカ発売



スタートアップ企業さま向け 「利用先限定デポジットカード」発行



サステナビリティへの取り組み



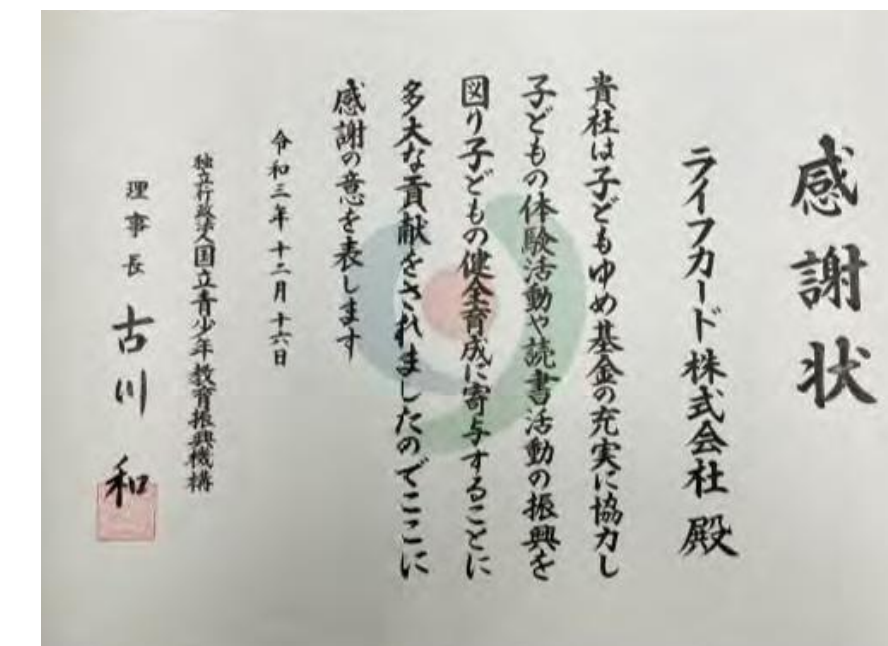
「KEIO MED EXPRESS CARD」と「ドコケア」の連携

- ライフカードはケアプロ株式会社と連携し、慶應義塾大学病院との提携カード「KEIO MED EXPRESS CARD」を利用している患者様の通院付き添いサービスを12月より開始



国立青少年教育振興機構より感謝状を拝受

- サンクスポイントを通じた寄付が体験活動や読書活動等の「子どもの健全育成」に貢献し、感謝状を拝受



IT機器の寄贈

- タイ王国のAIRA&AIFULが現地学校にIT機器を寄贈

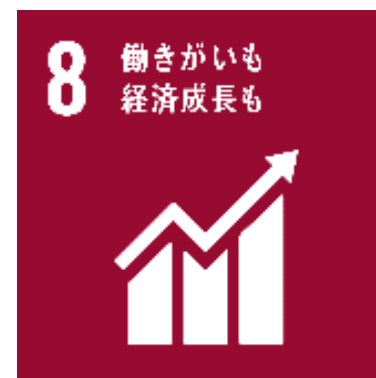


サステナビリティへの取り組み



タイ王国におけるハッカソンの実施

- 2021年12月、チュラロンコン大学の学生を対象に実施
(国内では2019年3月から後援を開始、京都大学の学生を対象に2回実施済み)



従業員満足度調査の実施

- 毎年1回実施
- 今期の回答率は97.4%



自店検査の実施

- 1年に2回、全社員が自部署の業務を検査
- 今年度は12月末時点で1回目実施完了

国内マクロ環境 (2021年12月末時点)

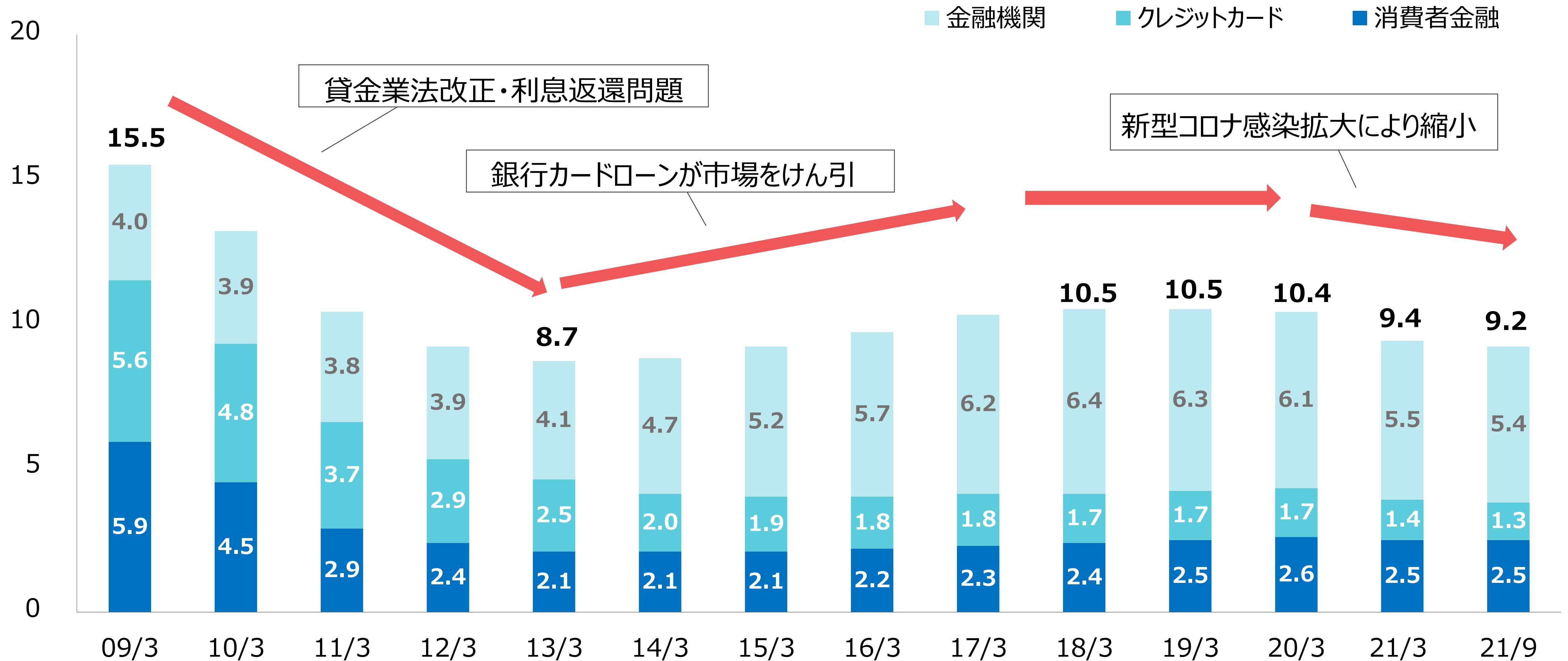
- 2021年7～9月GDP成長率は、前期比-0.9%（4～6月+0.5%）、前年同期比+1.2%（2020年7～9月 -5.4%）〈内閣府 統計データ〉。
- 11月に新型コロナ変異ウイルスのオミクロン株発生により感染が再拡大し、今後の経済活動への影響が懸念される。

マクロ環境 (タイ王国)

- 2021年7～9月GDP成長率は、前年同期比-0.3%（2020年7～9月 -6.4%）〈国家経済社会開発委員会データ〉。
- 11月から観光業回復を目的として、新型コロナのワクチン接種完了を条件に入国時の隔離措置を免除したが、感染拡大を受け一時停止し、2/1より再開。今後の観光業回復が経済回復を左右する。

無担保ローン市場

単位：兆円



※ 消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計 金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）

02 決算概況

業績ハイライト（連結）

21 / 12 期

前年同期比

営業アセット

8,677 億円

+ 7.8%

ローン

5,688 億円

+ 3.9%

クレジット

1,173 億円

+ 6.4%

保証

1,654 億円

+ 21.0%

業績ハイライト（連結）

21 / 12 期

前年同期比

営業収益

984億円

+ 2.7%

営業利益

186億円

+ 19.2%

経常利益

189億円

+ 11.8%

ROA

2.8%

+ 0.2pt

業績ハイライト（無担保ローン・信用保証）

21 / 12 期

前年同期比

計画進捗率

新規獲得
(単体・無担保ローン)

153,004件

+32.3%

80.5%

信用保証残高

1,654億円

+21.0%

無担保ローン

- ワクチン接種の普及および緊急事態宣言解除により消費活動が回復
- 非対面でのスピーディーな審査やスマホATMなどによりサービスの利便性を向上
- 資金需要に応じて適切に広告宣伝費を投下

信用保証

- 金融機関のニーズに合わせた商品の提供
- 提携先への積極的なアプローチとサポート体制
- おまとめローンを中心に証書貸付残高が前年同期比で192億円増加

主要数値・通期計画（連結）

- 営業アセット：主力の無担保ローンおよび信用保証事業の残高成長、クレジットカード事業の回復により前年同期比7.8%増
- 信用保証事業：おまとめローンを中心とした証書貸付（前年同期比192億円増）が牽引し、前年同期比21.0%増の1,654億円

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比増 減額	前年同期比増 減率	22/3 (E)	前期比 増減額	前期比 増減率
営業アセット	804,612	867,718	63,106	7.8%	897,100	80,520	9.9%
ローン事業	547,437	568,878	21,441	3.9%	583,100	29,710	5.4%
無担保ローン	475,246	493,801	18,555	3.9%	508,400	26,712	5.5%
有担保ローン	19,396	17,973	-1,422	-7.3%	17,900	-381	-2.1%
事業者ローン	52,794	57,103	4,308	8.2%	56,700	3,278	6.1%
クレジット事業	110,321	117,369	7,047	6.4%	127,700	18,985	17.5%
支払承諾見返	138,191	166,469	28,277	20.5%	176,300	30,574	21.0%
信用保証事業	136,793	165,486	28,692	21.0%	175,300	30,871	21.4%
その他	1,398	983	-415	-29.7%	900	-397	-30.6%
営業収益	95,863	98,492	2,628	2.7%	131,800	4,318	3.4%
営業費用	80,261	79,889	-371	-0.5%	107,700	-2,250	-2.0%
営業利益	15,602	18,602	3,000	19.2%	24,100	6,539	37.5%
経常利益	16,958	18,963	2,004	11.8%	24,300	4,994	25.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	16,164	18,161	1,997	12.4%	23,100	4,662	25.3%

連結決算概要

- 営業収益：営業貸付金利息および信用保証収益の増加等により、前年同期比2.7%増の984億円
- 営業利益：営業収益の増加および貸倒関連費用の減少により前年同期比19.2%増の186億円

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	95,863	98,492	2,628	2.7%
営業貸付金利息	55,679	57,040	1,361	2.4%
信用購入あっせん収益	14,663	14,759	95	0.7%
信用保証収益	10,959	11,743	784	7.2%
その他の営業収益	14,561	14,948	387	2.7%
営業費用	80,261	79,889	-371	-0.5%
金融費用	5,444	5,300	-144	-2.6%
利息返還関連費用	-	-	-	-
貸倒関連費用	27,276	25,991	-1,285	-4.7%
宣伝関連費用	7,281	10,522	3,240	44.5%
人件費	12,657	12,547	-110	-0.9%
その他の費用	27,600	25,527	-2,072	-7.5%

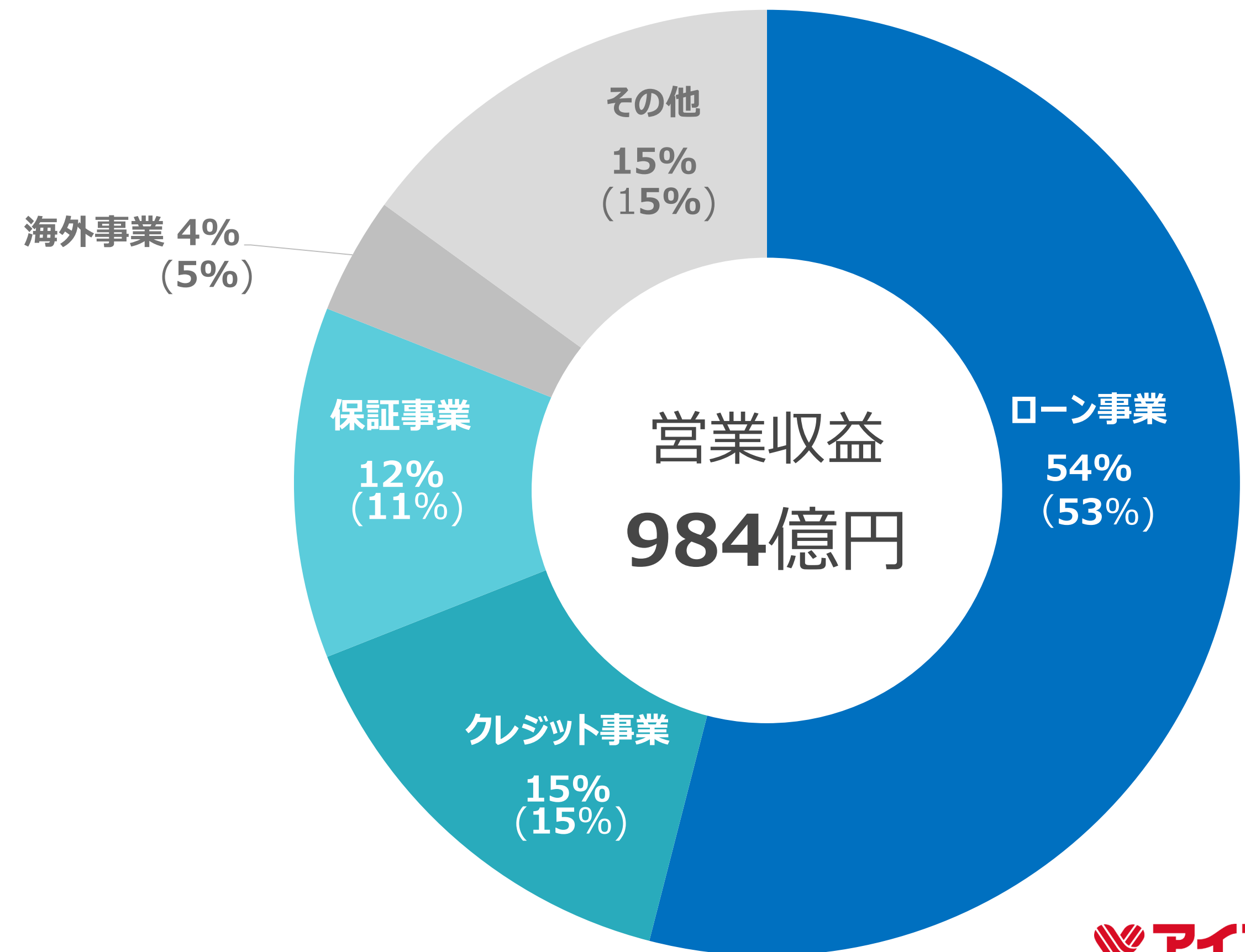
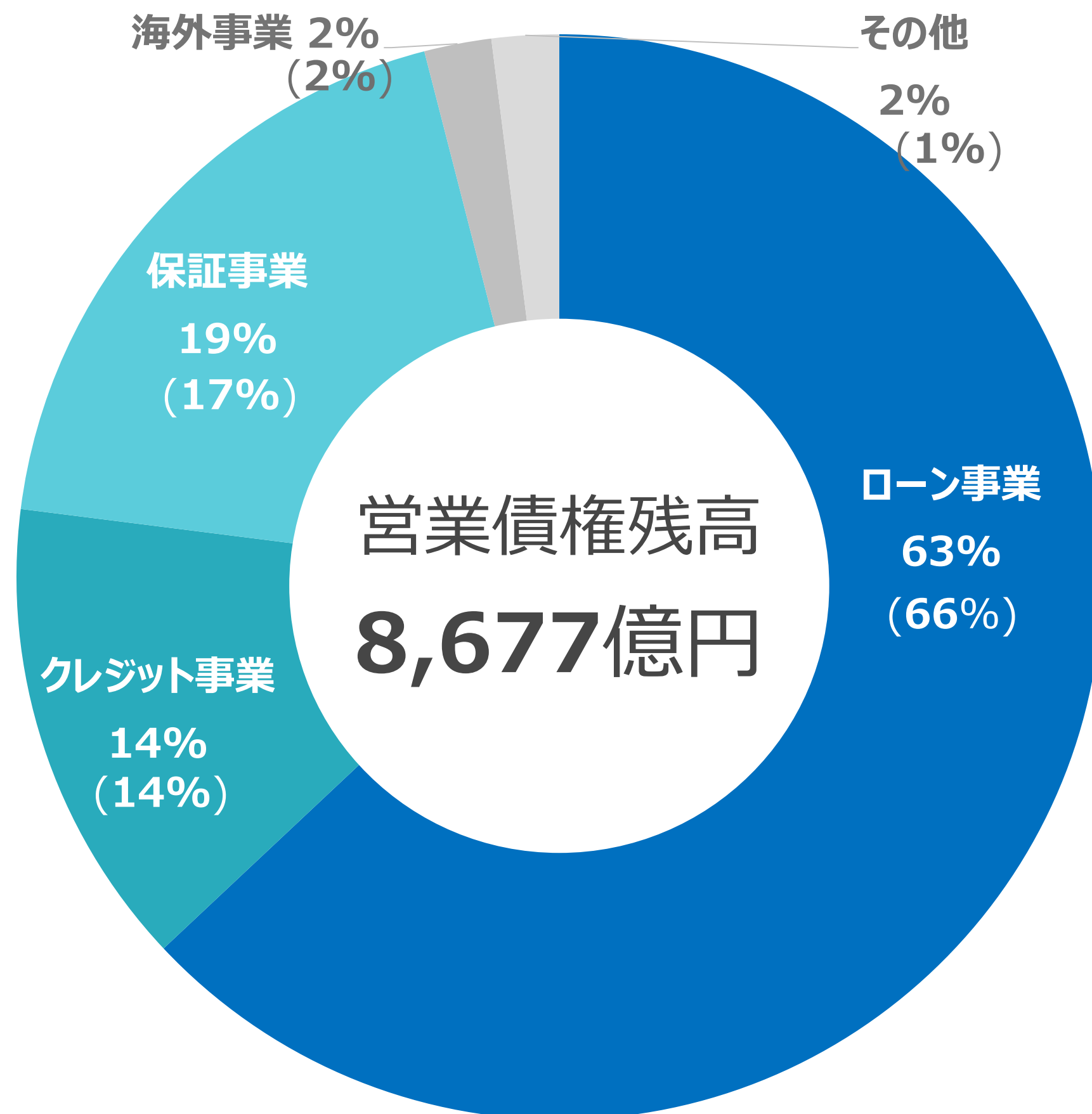
単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業利益	15,602	18,602	3,000	19.2%
営業外収益	1,461	458	-1,003	-68.6%
営業外費用	105	97	-7	-7.1%
経常利益	16,958	18,963	2,004	11.8%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	91	-	-	-
税引前利益	16,867	18,963	2,096	12.4%
法人税・住民税 および事業税	1,876	1,328	-547	-29.2%
法人税等調整	-986	-596	389	-
非支配株主に帰 属する当期純利 益	-187	69	256	-
親会社株主に帰 属する当期純利 益	16,164	18,161	1,997	12.4%

事業ポートフォリオ

【事業ポートフォリオの考え方】

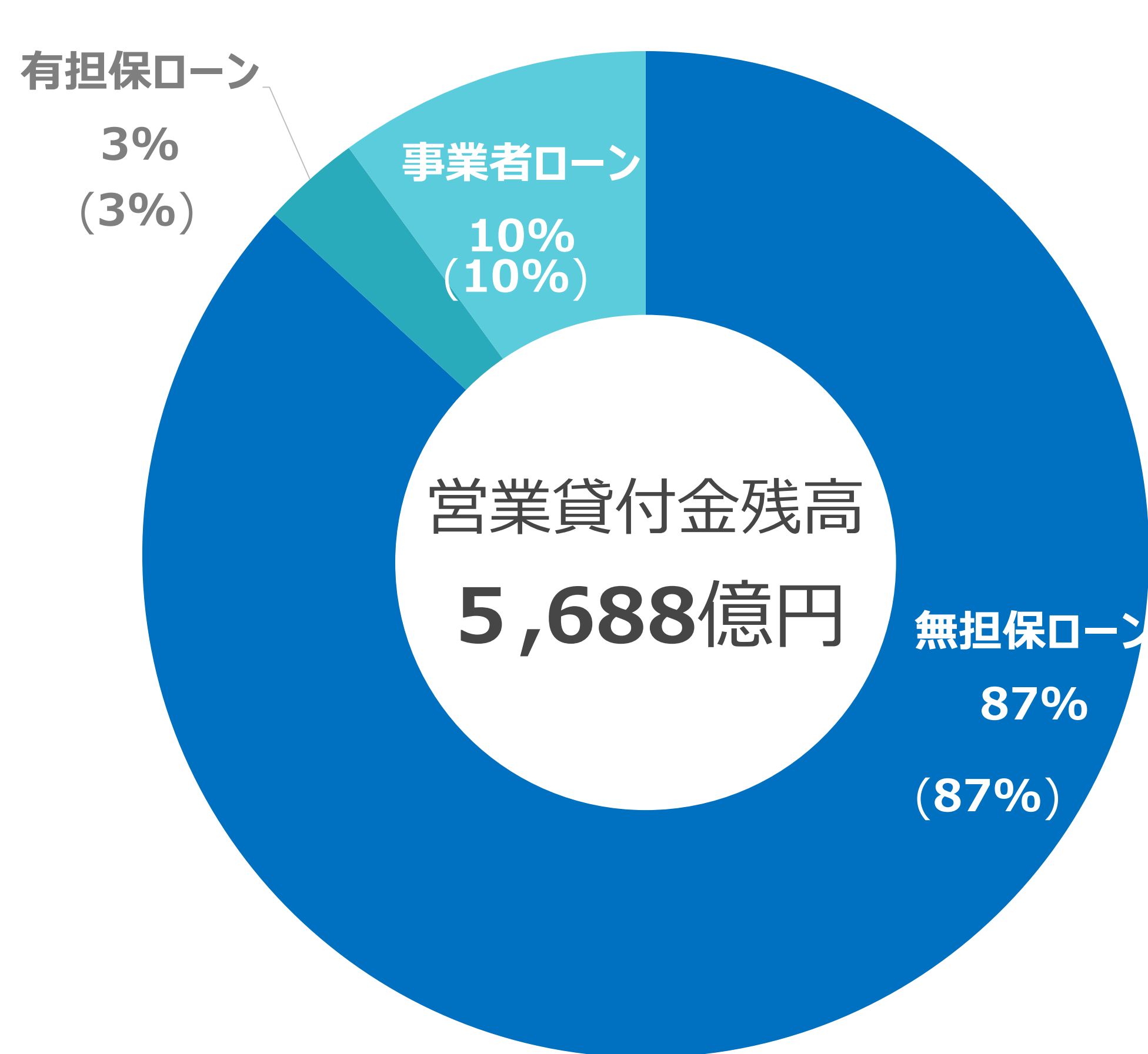
ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指す

- 営業債権残高：信用保証事業が残高2桁成長を背景に、前年同期比2pt増の19%と事業ポートフォリオの改善が継続
- 営業収益：信用保証収益が7%増加した結果、保証事業の占有が前年同期比1pt増加し12%

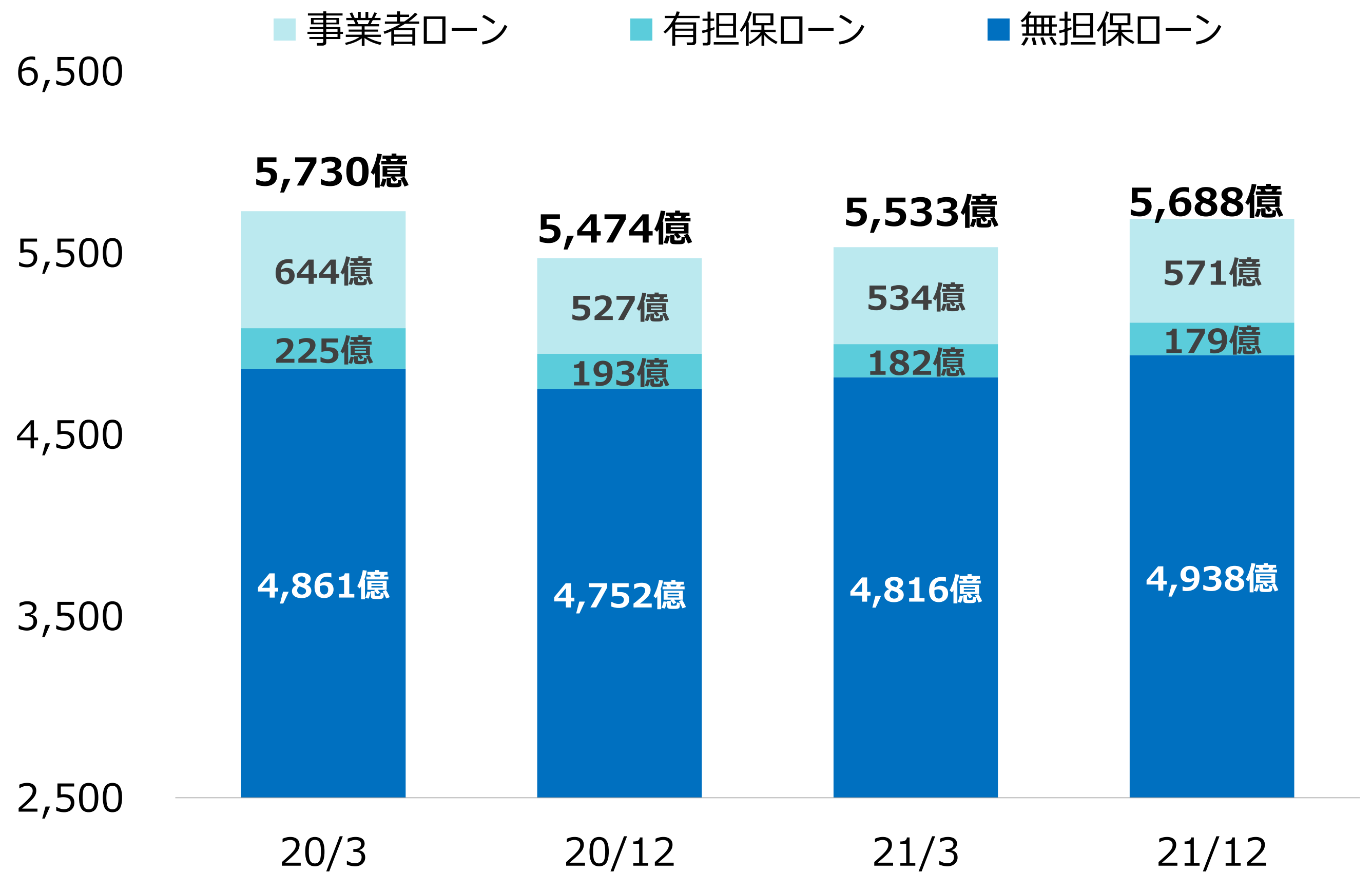


ローン事業/営業貸付金残高（連結）

- 営業貸付金残高:無担保ローン需要の回復により、前年同期比3.9%増の5,688億円
- 事業者ローン残高:新型コロナ救済の為の無利息融資等を背景とした残高減少が底打ちし、前期末比で6.9%増



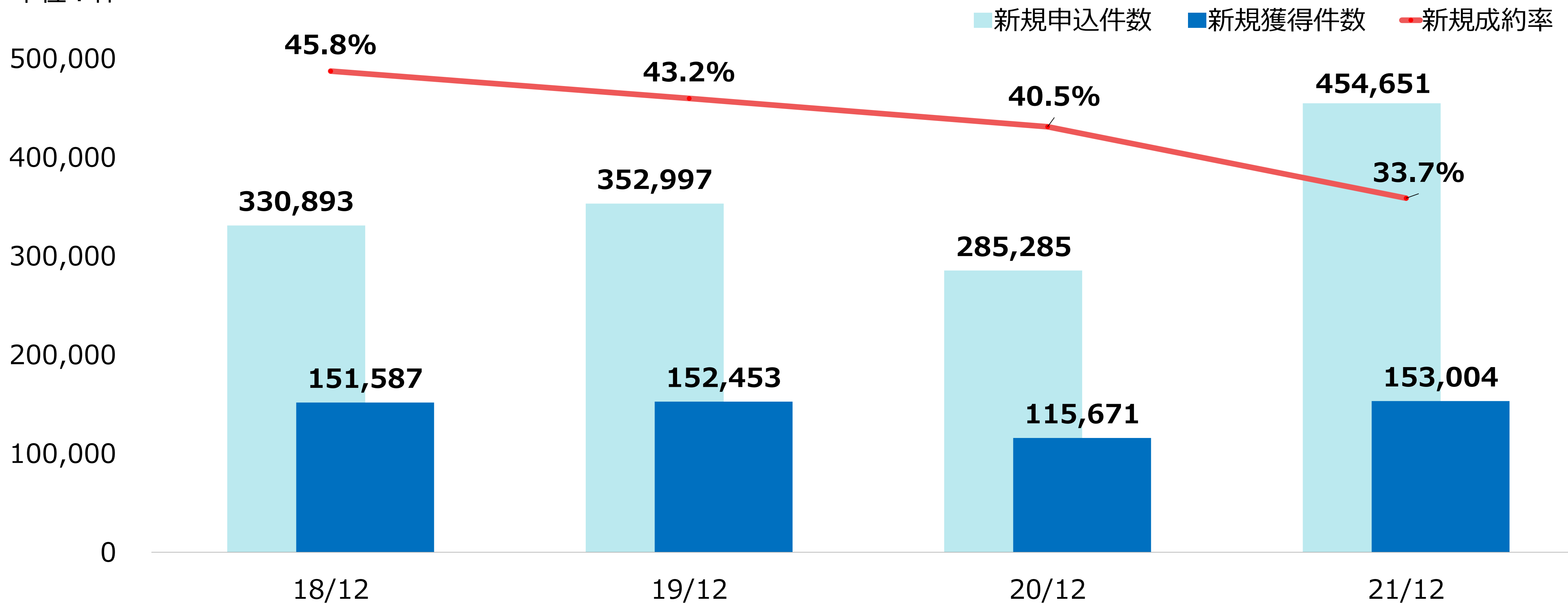
単位：億円



ローン事業/新規獲得（アイフル単体）

- 新型コロナの影響により資金需要は前期期初に大きく落ち込んだが、前期下期以降回復基調が続く
- 新規申込件数は前年同期比59.4%増の45.4万件、新規獲得件数は32.3%増の15.3万件
- 新型コロナ影響前の20年3月期第3四半期との比較でも、申込は大幅増加、獲得は同水準の推移となった

単位：件

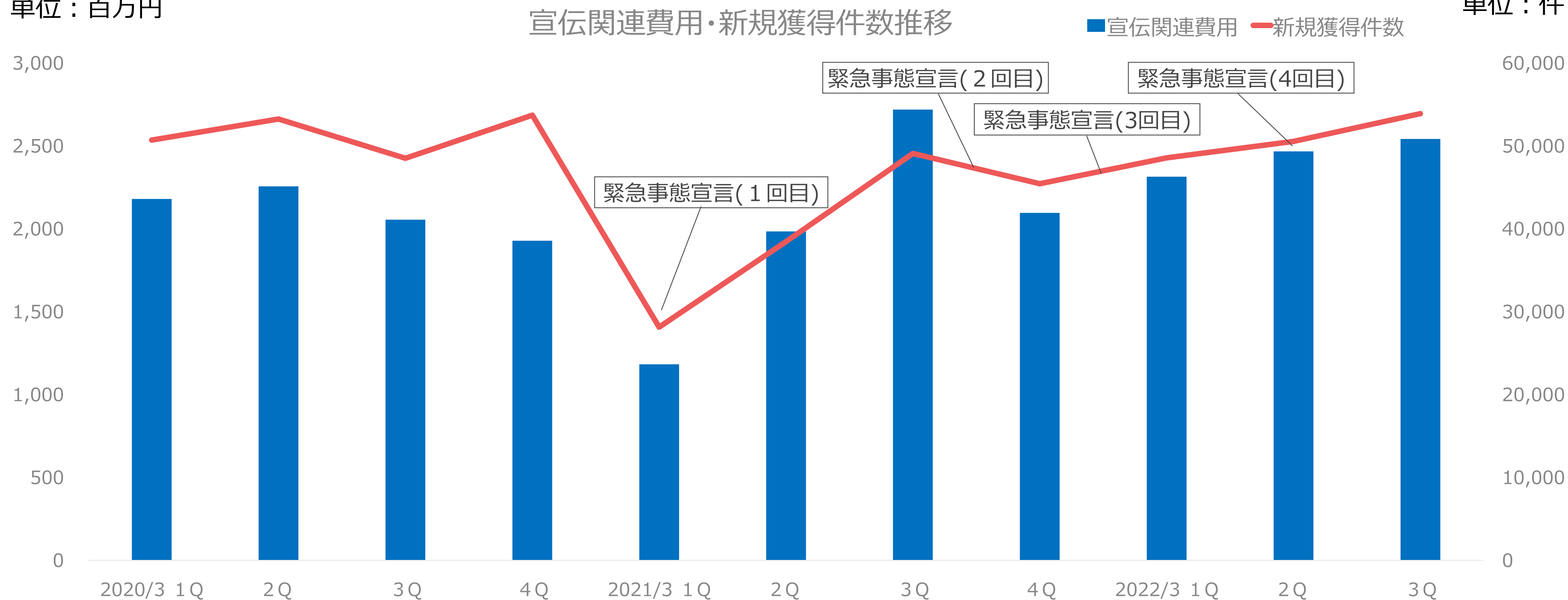


ローン事業/新型コロナ影響下の宣伝関連費用と新規獲得の相関（アイフル単体）

- 宣伝関連費用の投下量と新規獲得件数は相関関係にある
- 緊急事態宣言等新型コロナ影響を加味し、市場環境の動きに合わせた適切な宣伝関連費用の投下を実施
- 2021年3月期第3四半期以降例年並みの費用投下を行ったことにより、新規獲得件数は回復傾向

単位：百万円

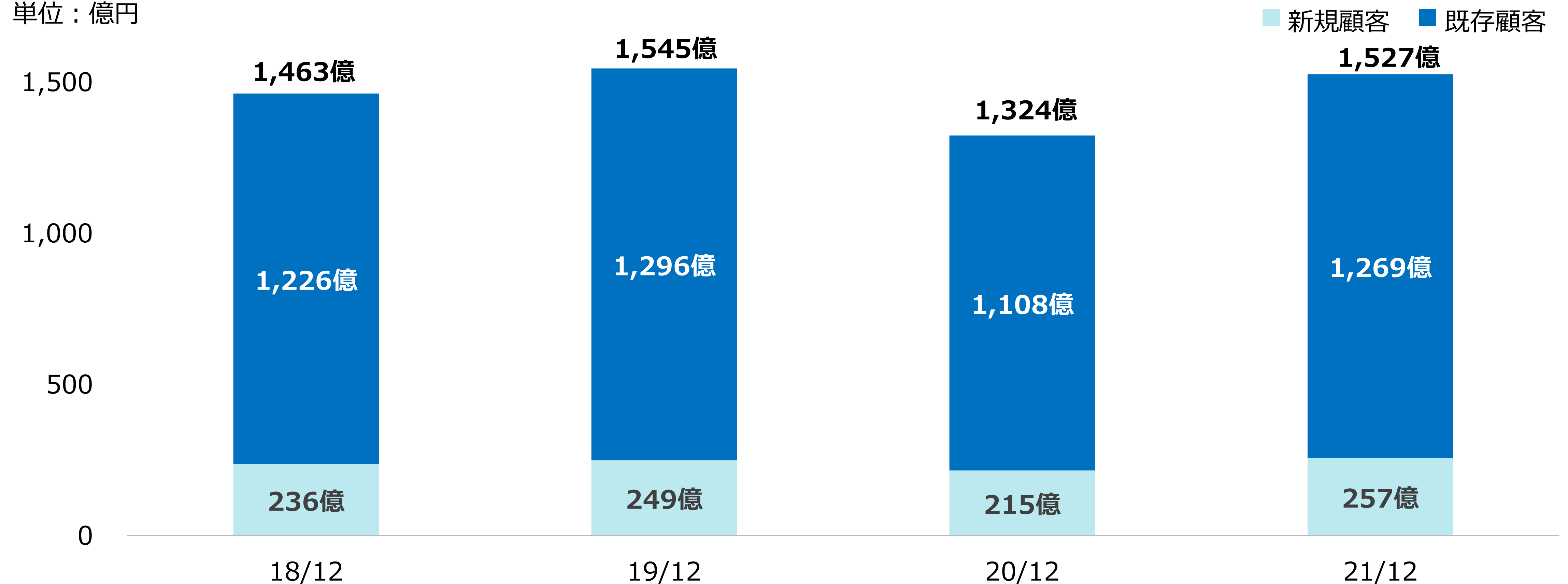
単位：件



ローン事業/貸付量（アイフル単体）

- 新型コロナによる資金需要の低下影響を受けた前年同期と比較して、貸付量は新規・既存いずれも回復
- 新規顧客への貸付量は前年同期比19.5%増の257億円、既存顧客への貸付量は前年同期比14.5%増の1,269億円
- 新型コロナ影響前の2020年3月期第3四半期との比較では、新規・既存顧客ともに同水準の貸付量となっている

単位：億円

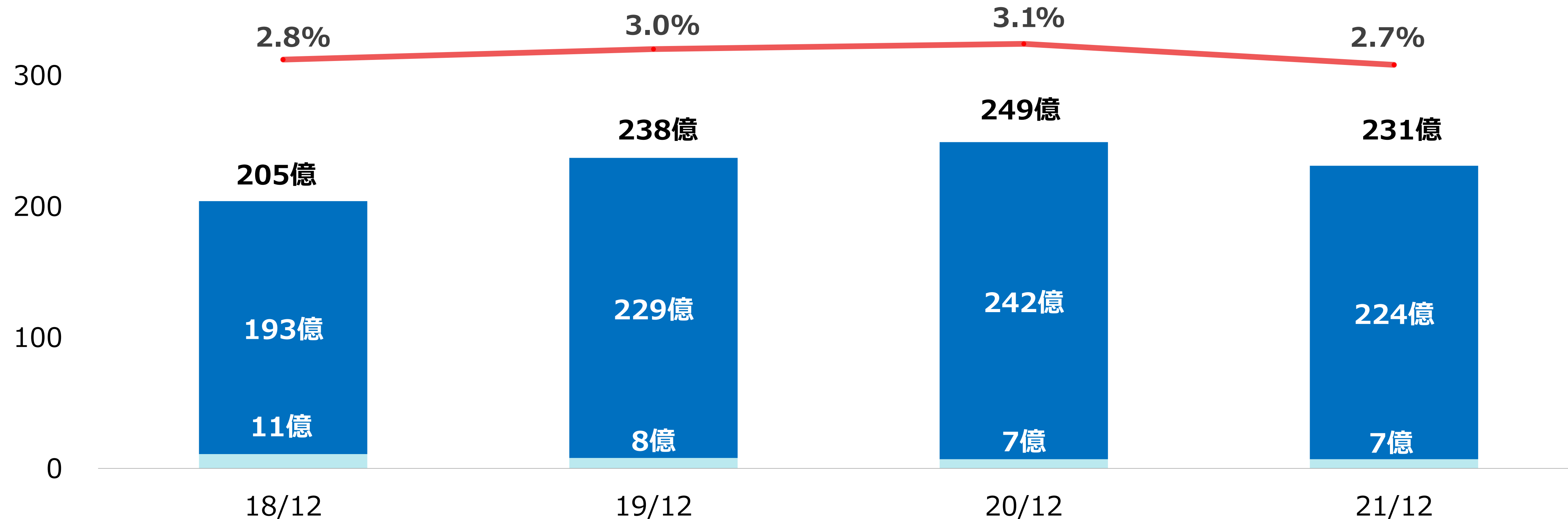


不良債権 / 貸倒償却（連結）

- 貸倒償却は前年同期比6.9%減の231億円、償却率は 2.7% と低位安定
- 貸倒償却の内、利息返還に係る債権放棄は7億円と低位で推移

単位：億円
400

■通常貸倒償却 ■利息返還に係る債権放棄 ●貸倒償却率



※連結：アイフル・ライフカード・アイフルビジネスファイナンス・アイフルギャランティー・AG債権回収・AIRA&AIFUL

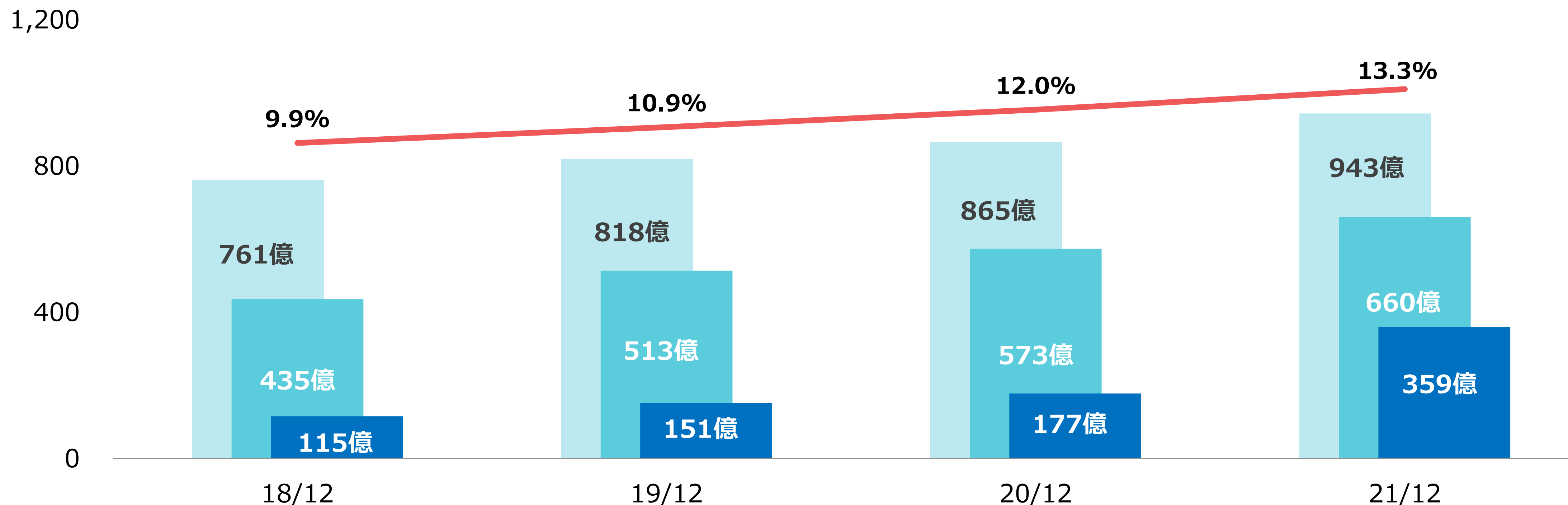
※貸倒償却率は2022年3月期第2四半期より、「利息返還に係る債権放棄」を含んだ貸倒償却率のみの開示としております。

不良債権 / 無担保ローン不良債権（連結）

- 定期的な入金が見込める和解債権（貸出条件緩和債権）の増加を主要因として、無担保ローン不良債権残高は前年同期比15.1%増の660億円、不良債権比率は1.3Pt増の13.3%となった

単位：億円

■不良債権残高 ■無担保ローン不良債権残高 ■無担保ローン貸出条件緩和債権残高 —無担保ローン不良債権比率



※2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含んでおります。

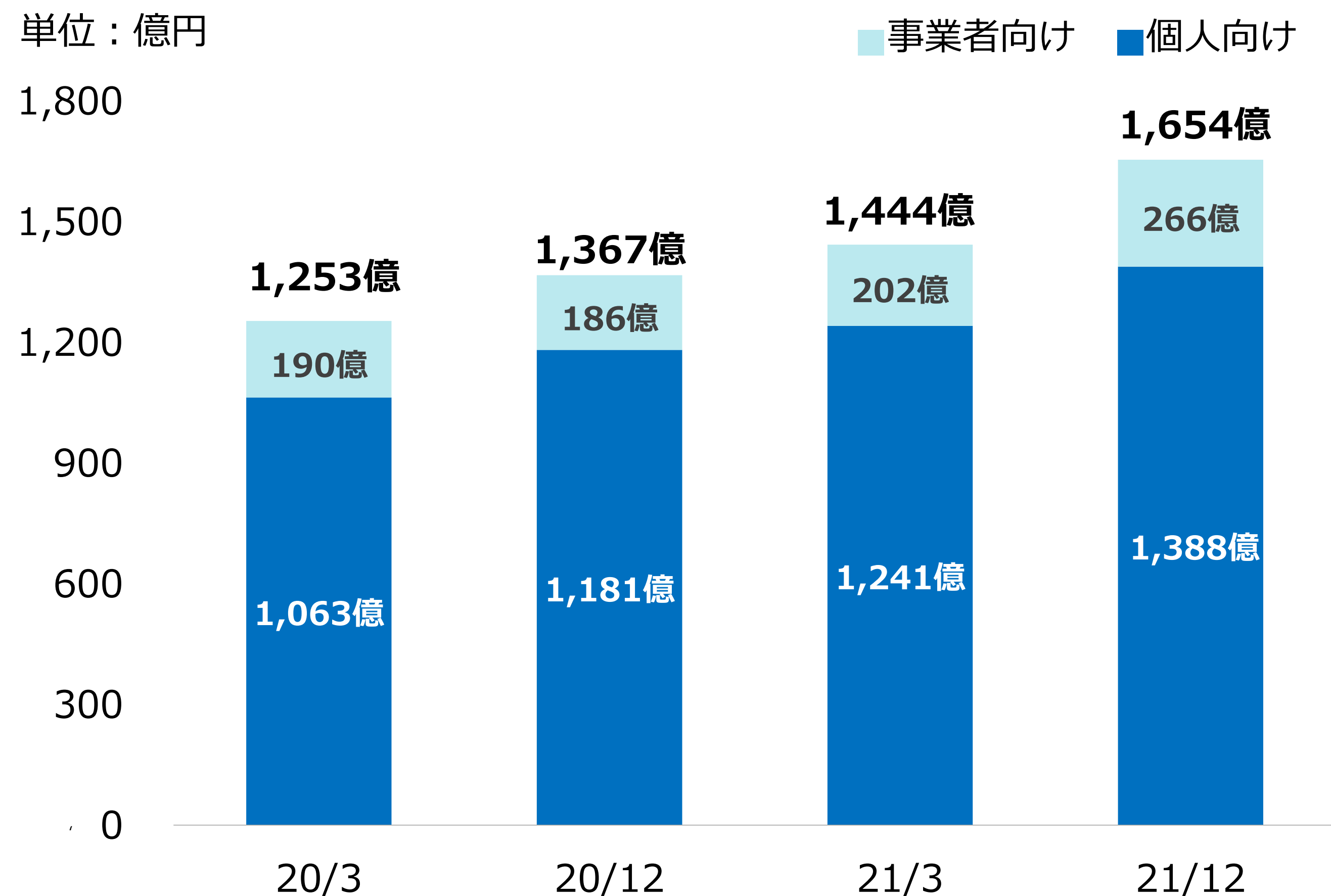
※不良債権残高：アイフル・ライフカード・アイフルビジネスファイナンス・AGメディカル・AIRA & AIFUL

※不良債権残高（無担保のみ）：アイフル・ライフカード・AIRA & AIFUL

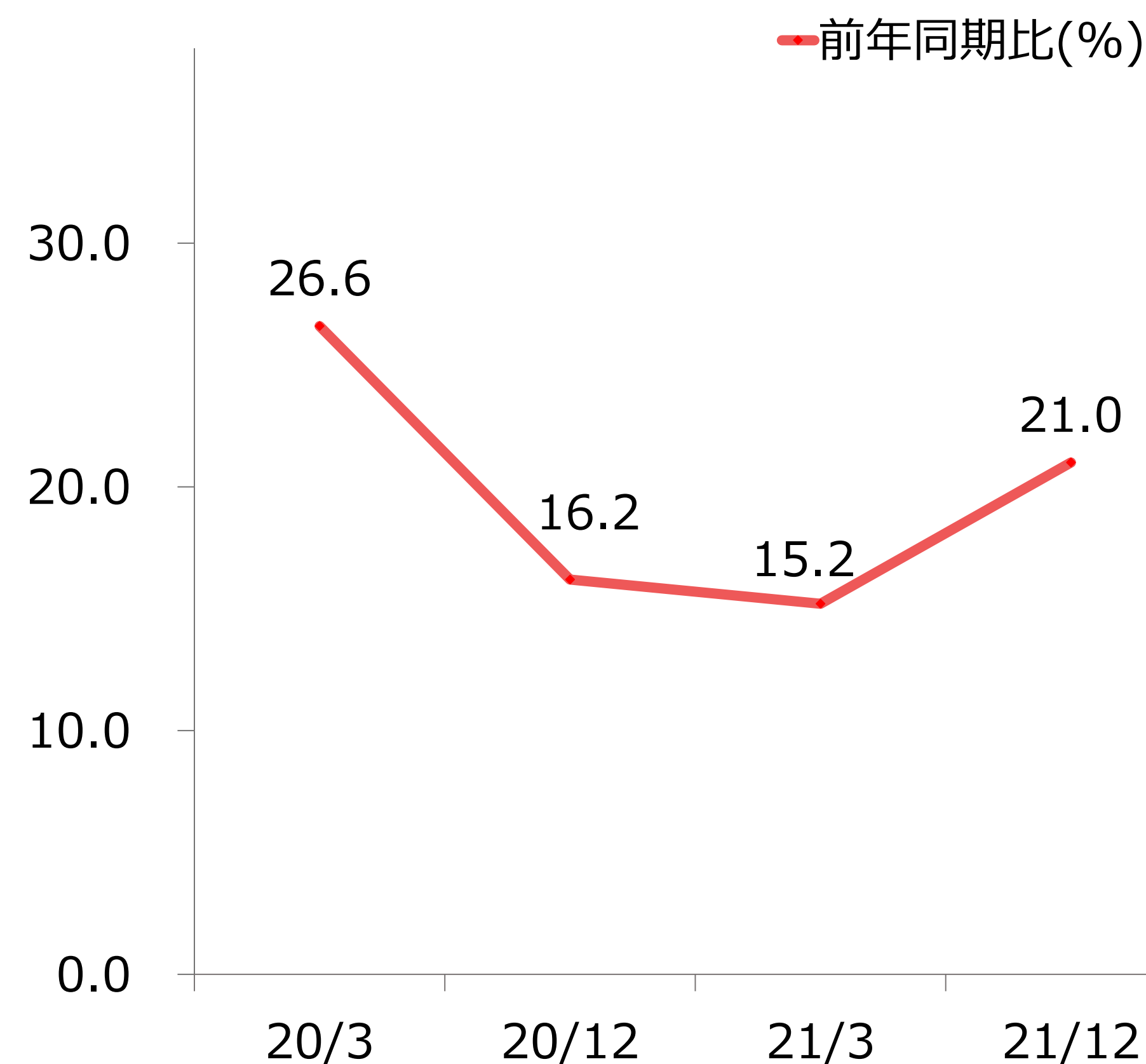
信用保証事業/個人・事業者向け保証残高（連結）

- 商品の多様化や提携先との関係強化に取り組んだ結果、前年同期比21.0%増の1,654億円と新型コロナ前の成長率まで回復

保証残高



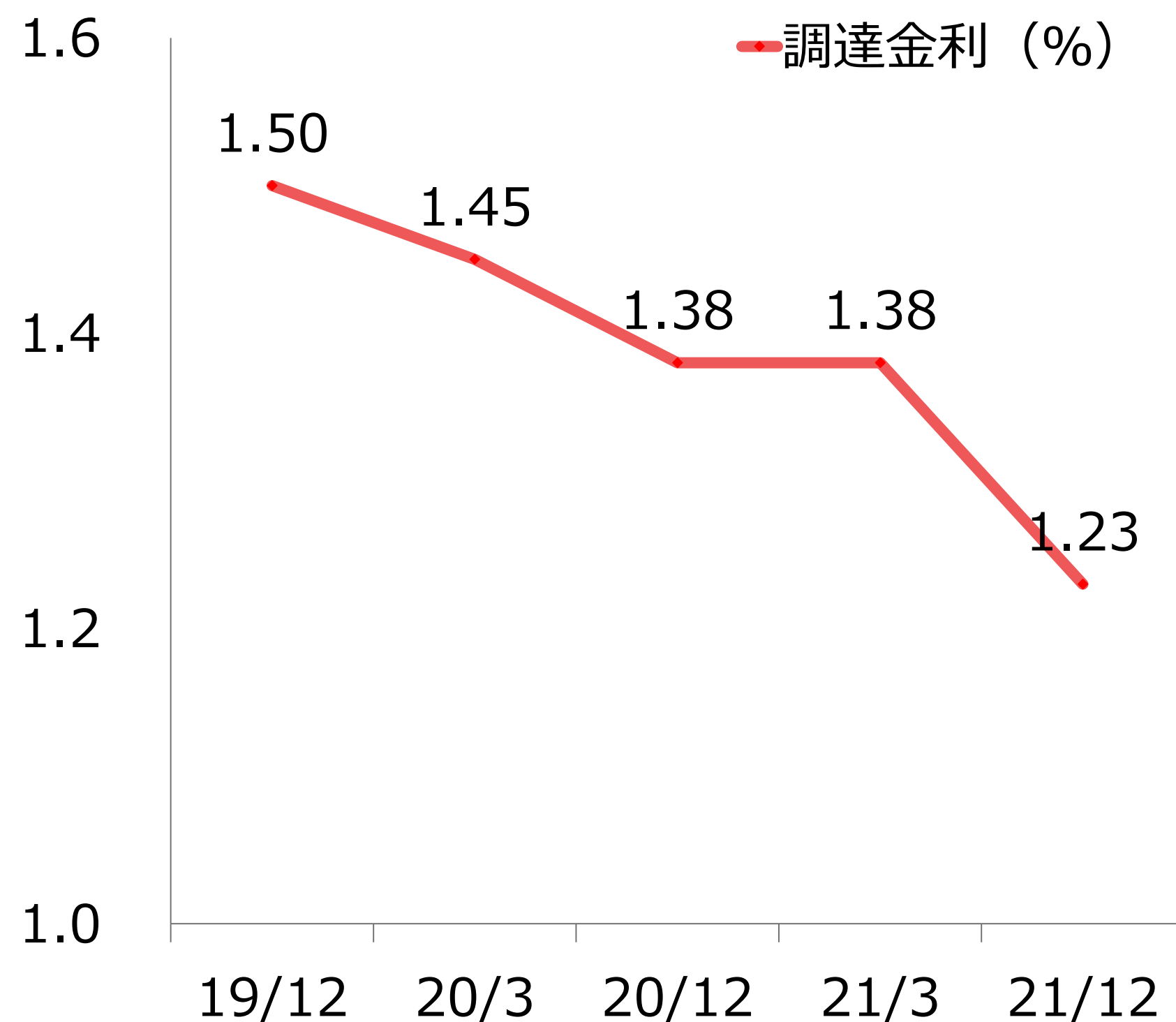
保証残高成長率



資金調達（連結）

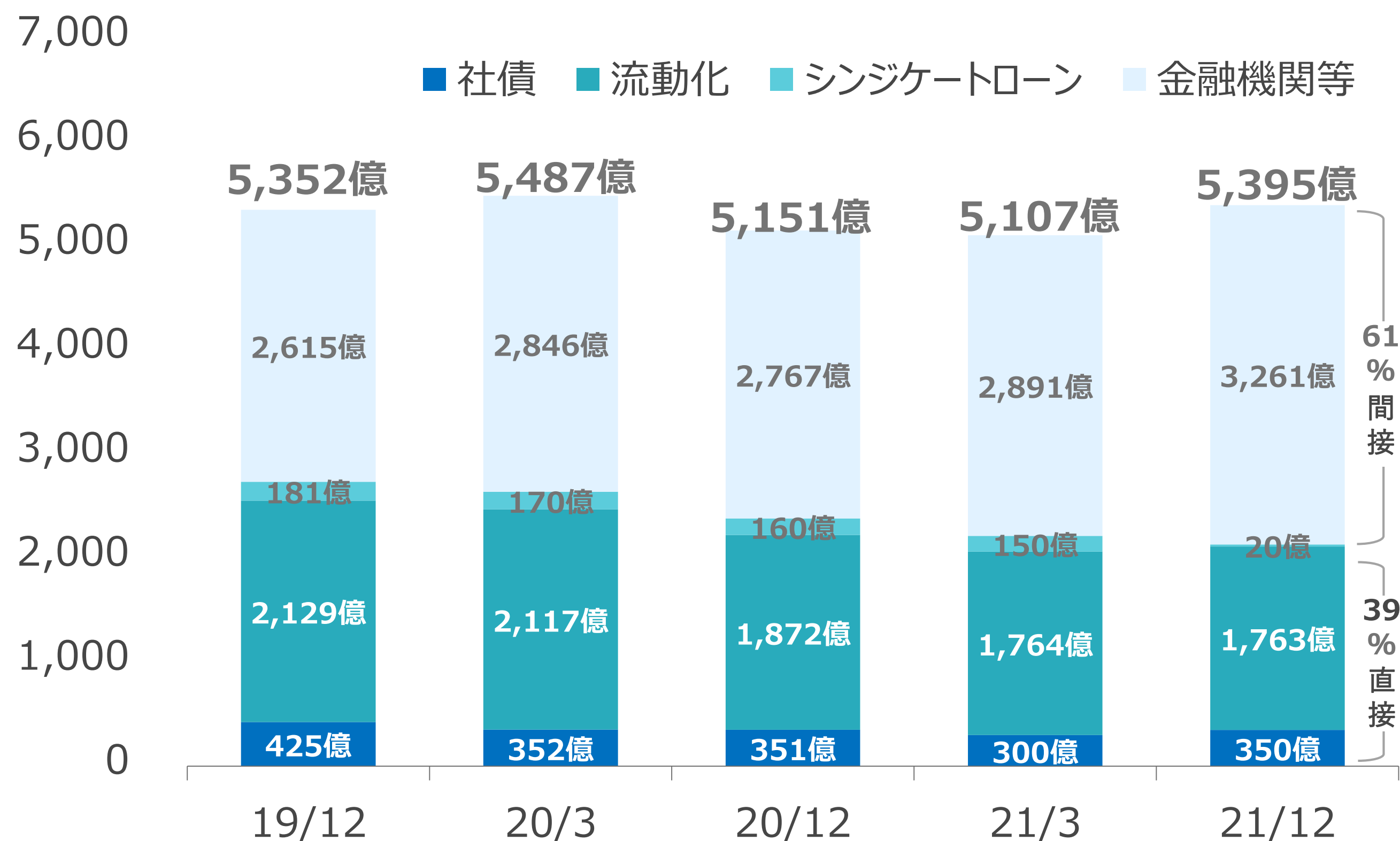
- 調達金利：業績改善および外部格付の格上げにより直接・間接ともに低下傾向
- 調達金額：資金需要の回復に伴い、前年同期比4.7%増の5,395億円

調達金利



単位：億円

調達金額

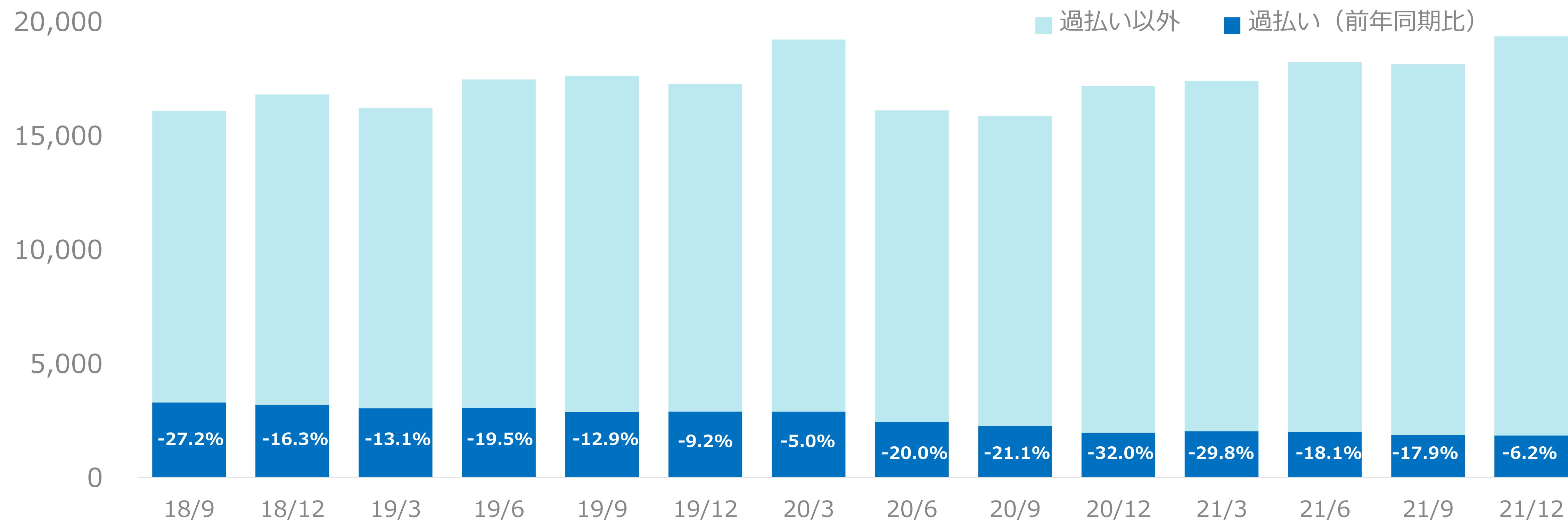


利息返還/弁護士等介入

- 介入入庫のうち過払いの対象となる介入過払の入庫は前年同期比6.2%減少

弁護士等介入入庫数の推移(単体)

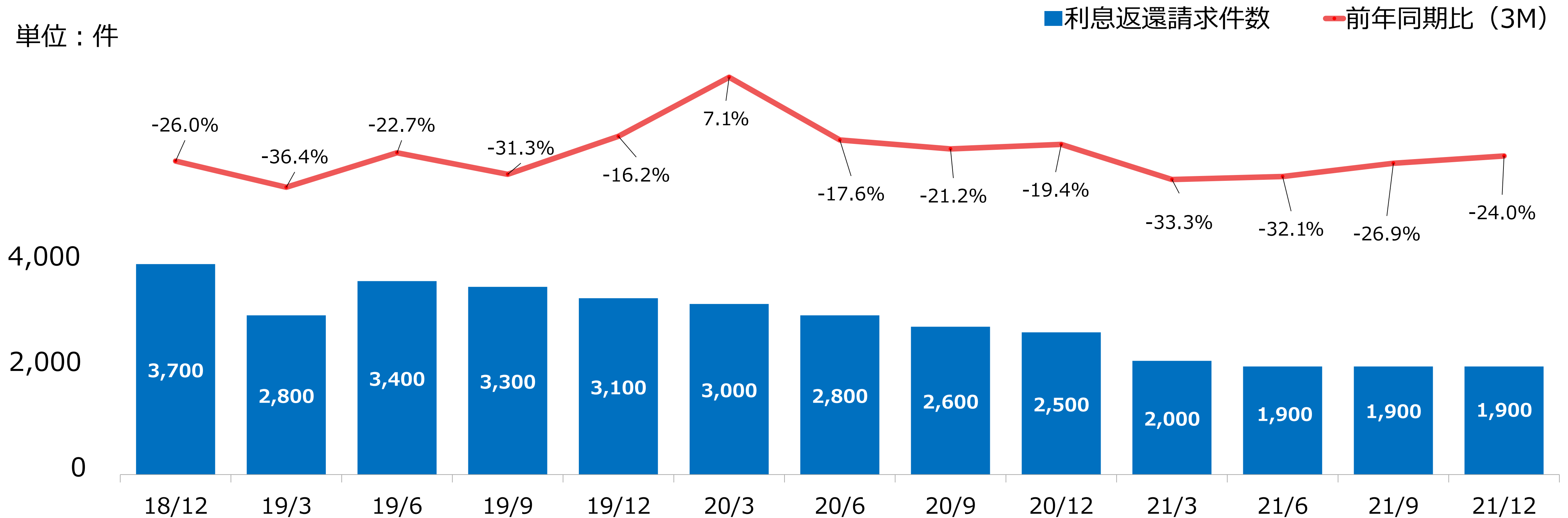
単位：件



利息返還 / 利息返還請求

- 利息返還請求件数は前年同期比（3か月合計）24.0%減の1,900件と引き続き減少傾向

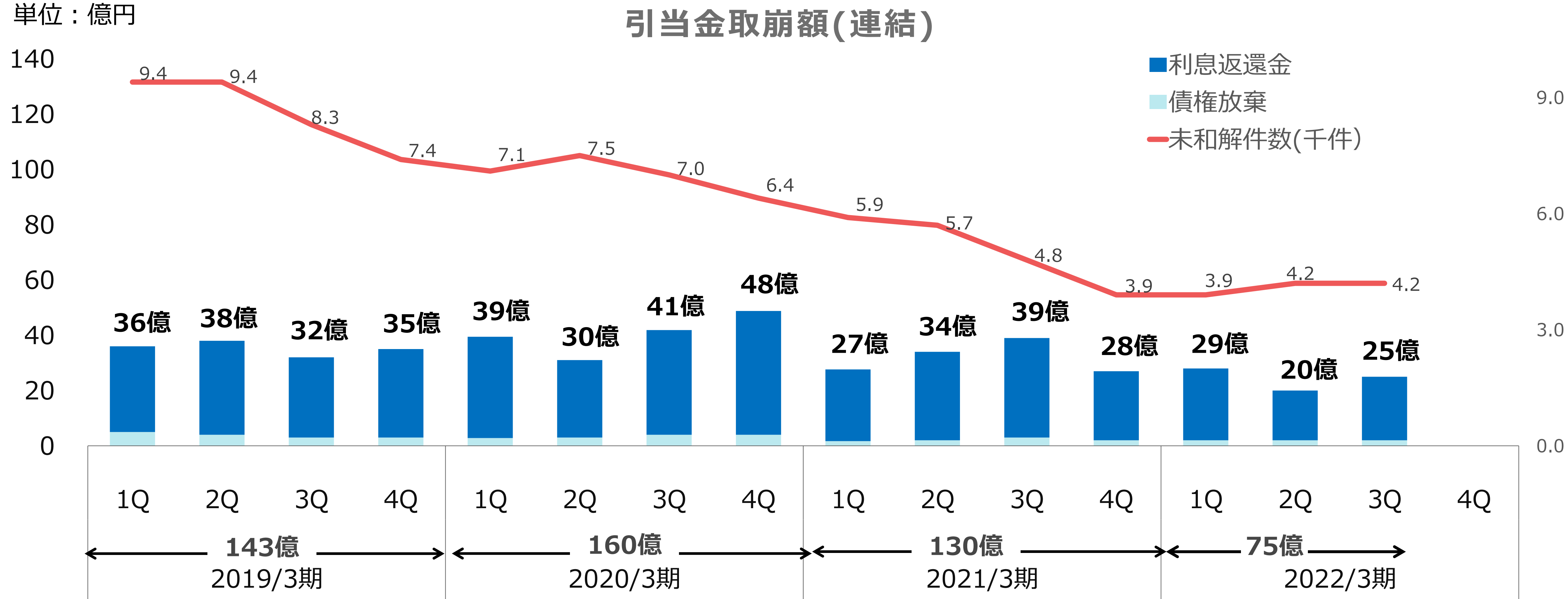
利息返還請求（単体）



利息返還/引当金の取崩額

- 2022年3月期第3四半期累計での連結利息返還損失引当金取崩額は前年同期比25.5%減の75億円（うち利息返還68億円、債権放棄7億円）
- 積極的に和解を進めたことで未和解件数は着実に減少しており、2022年3月期第3四半期では4,200件となった

単位：億円



利息返還/引当金の内訳

- 期首引当金残高156億円から発生額75億円（うち利息返還68億円、債権放棄7億円）を取り崩し、期末引当金残高は80億円

引当金残高

(連結)

単位：百万円	利息返還 損失引当 金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	12,913	2,737	15,651
発生額（利息返還）	6,884	-	6,884
発生額（債権放棄）	-	702	702
繰入額（戻入額）	-	-	-
期末引当金残高	6,028	2,035	8,063

(アイフル単体)

単位：百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	11,460	2,397	13,857
発生額（利息返還）	6,249	-	6,249
発生額（債権放棄）	-	584	584
繰入額（戻入額）	-	-	-
期末引当金残高	5,211	1,813	7,024

※ライフカードの債権放棄発生額は、2022年3月期より債権放棄引当金からの取崩しに変更しております。

03 ライフカード決算概況



Be Unique!

Be Unique!を掲げ、
ユニークなブランドポジションを目指す

ライフカード/経営戦略

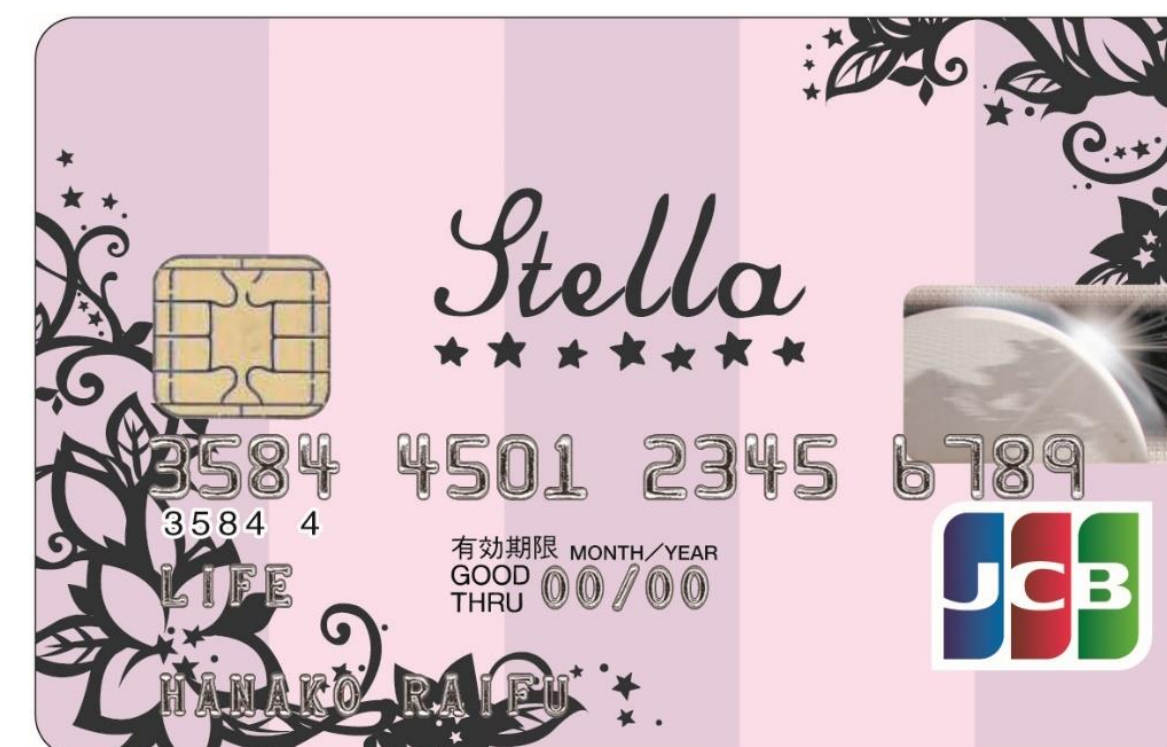
若年層への早期アプローチにより
LTVを高める

社会貢献カードやポイント寄付制度に
より情緒的価値を訴求

学生
専用



学生
専用



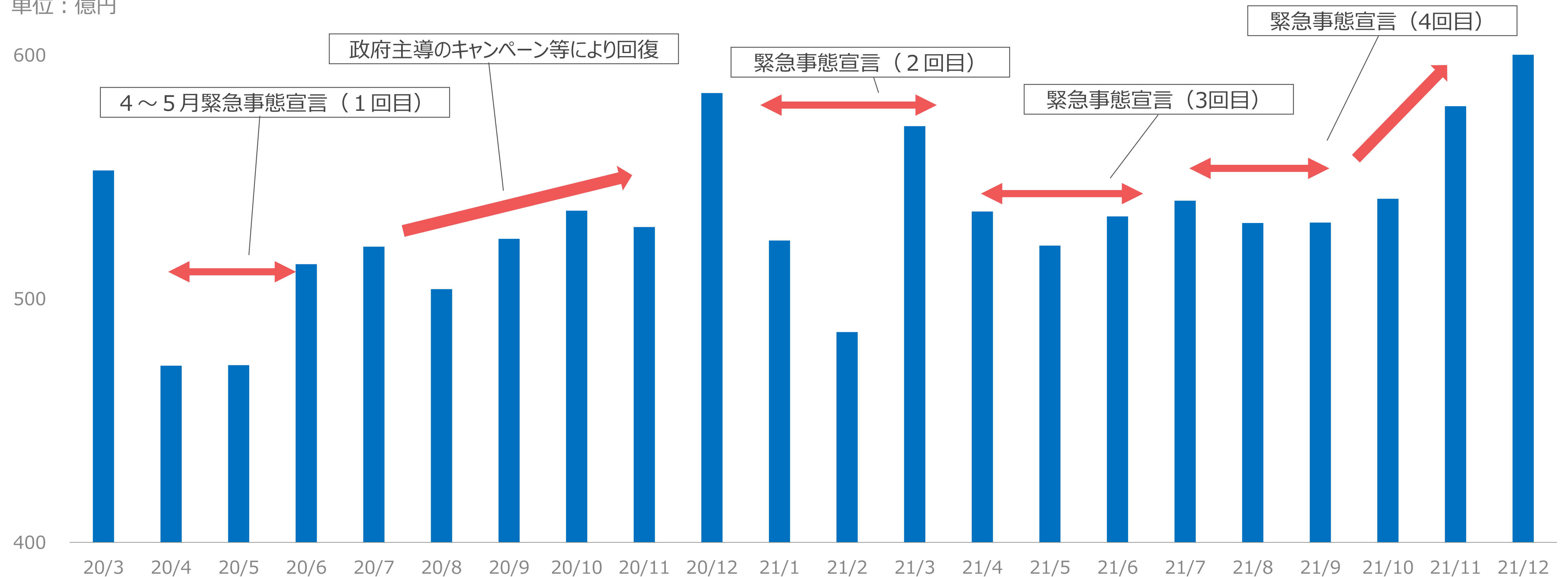
ライフカード/決算概要

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	24,328	23,886	-442	-1.8%
信用購入あっせん収益	12,504	12,267	-237	-1.9%
営業貸付金利息	3,472	3,104	-367	-10.6%
信用保証収益	1,178	1,304	125	10.7%
その他収益	7,173	7,210	37	0.5%
営業費用	21,230	20,646	-583	-2.7%
金融費用	974	824	-149	-15.4%
貸倒関連費用	2,654	2,395	-258	-9.7%
利息返還関連費用	-	-	-	-
広告宣伝費	77	726	648	835.4%
販売促進費	946	1,918	971	102.7%
人件費	3,484	3,445	-39	-1.1%
その他費用	13,093	11,337	-1,756	-13.4%
営業利益	3,098	3,239	141	4.6%
経常利益	3,682	3,347	-335	-9.1%
当期純利益	2,899	3,488	589	20.3%

ライフカード/月次買上実績（ショッピング）

- 緊急事態宣言解除ならびにWEBを中心とする新しい生活様式の浸透によりショッピング買上は回復傾向

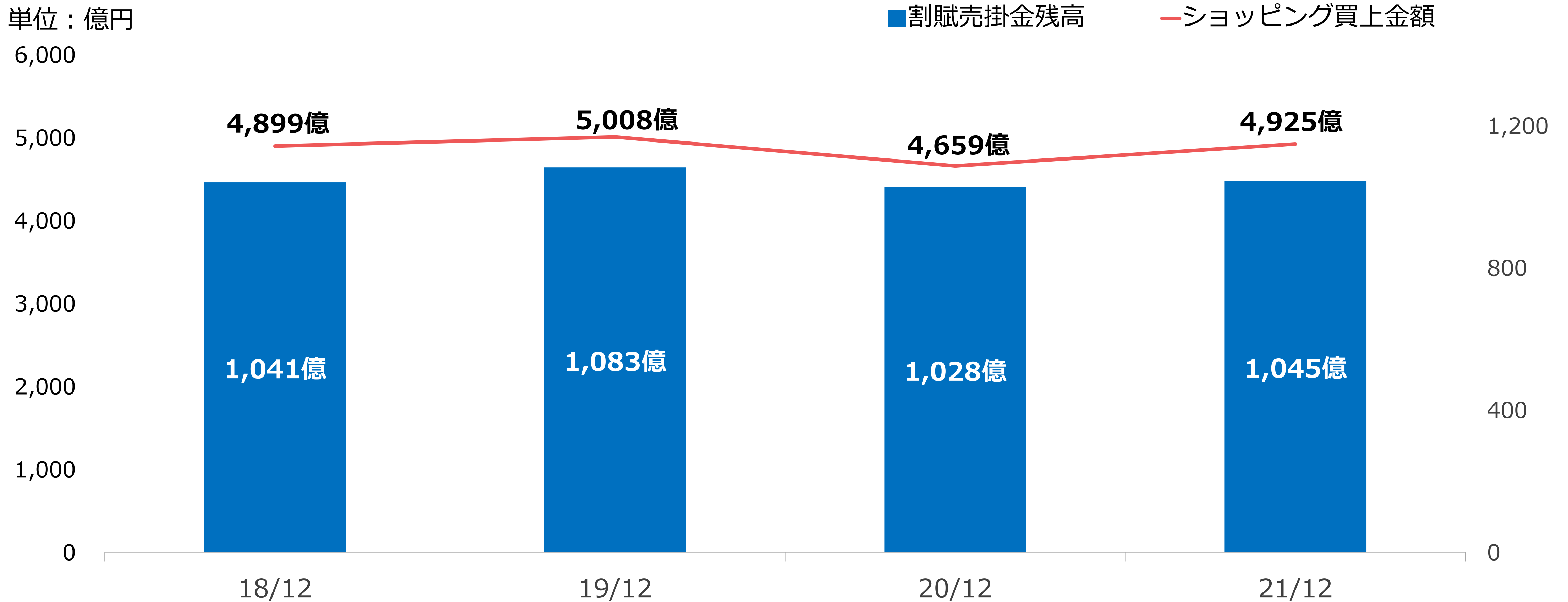
単位：億円



ライフカード/割賦売掛金残高

- ショッピング買上の回復に加え、リボ・分割払いの推進により前々期同水準まで回復

単位：億円

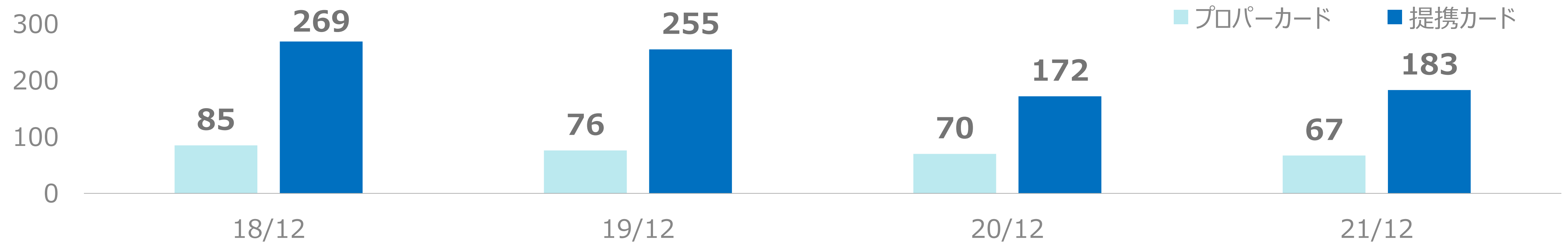


ライフカード/カード発行状況

- 新規提携カード発行・大型提携先での店頭カード入会のWEB化などの入会申込の拡大に努め、新規発行枚数は前年同期比6.3%増183千枚

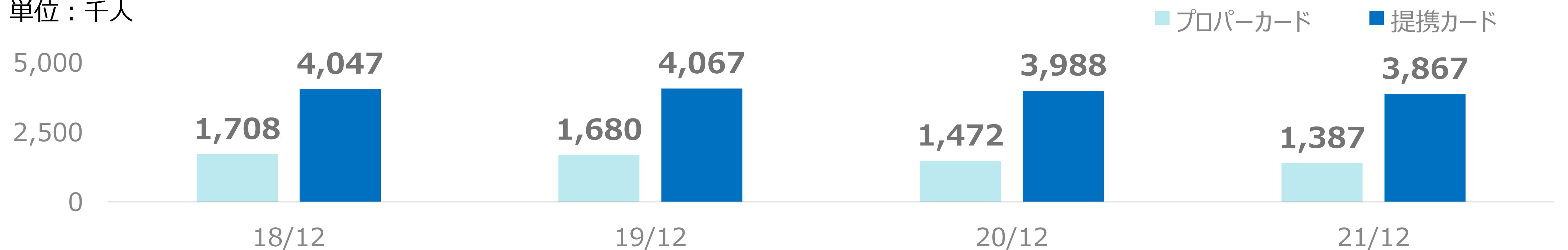
新規発行枚数

単位：千枚



有効カード会員数

単位：千人

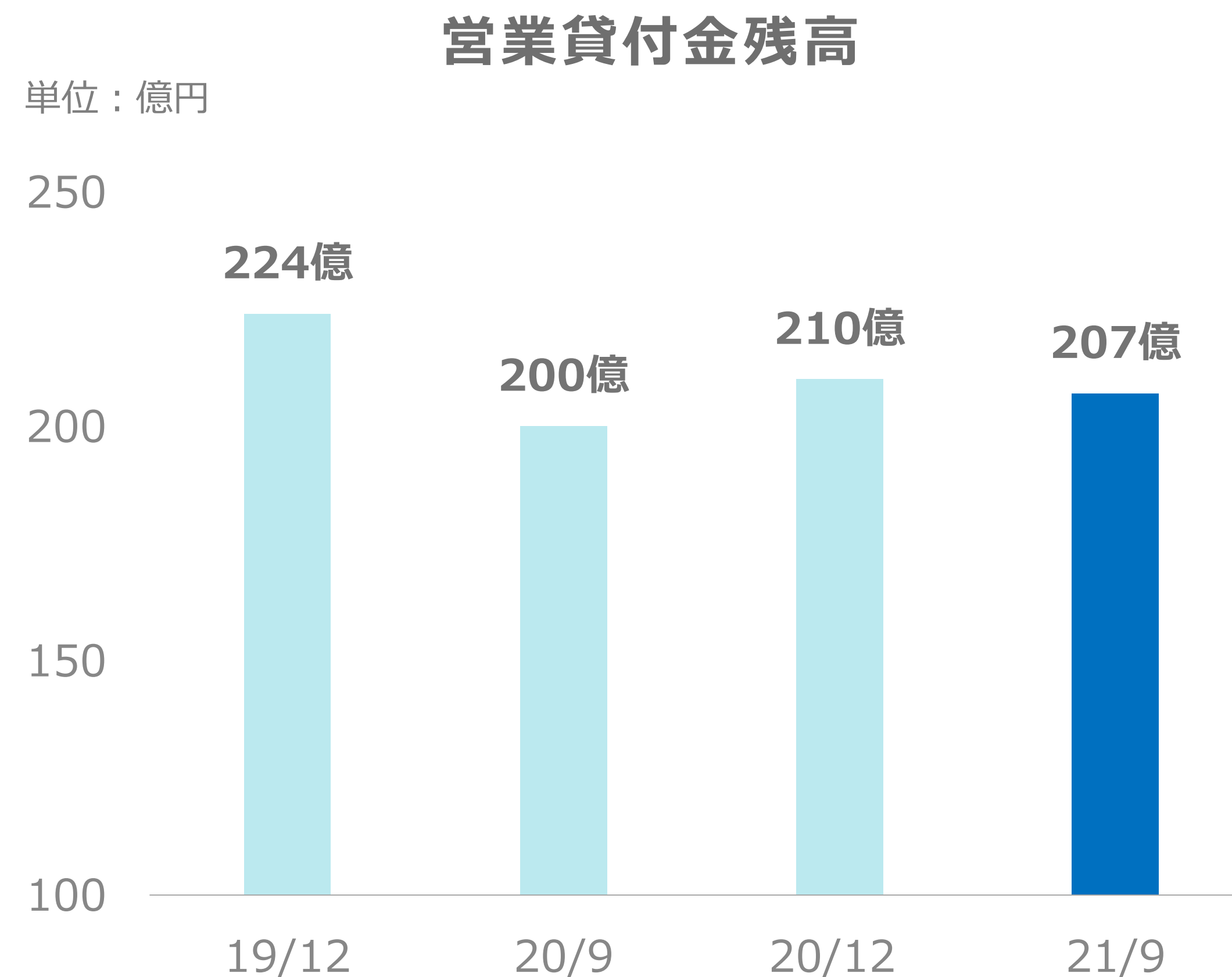


04 グループ各社決算概況

AIRA&AIFUL (タイ王国)

- 債権ポートフォリオの良化に伴い貸倒関連費用が減少した結果、第3四半期（1～9月）における経常利益は1.5億円

単位：百万円	20/9	21/9	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	20,047	20,731	3.4%
口座数（千）	322	319	-1.1%
営業収益	4,519	4,225	-6.5%
営業利益	-363	156	-
経常利益	-376	157	-
当期純利益	-376	157	-



※A&Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月～12月です。

※為替レート（タイバーツ）

B/S：2020年度3Q 3.34円、2021年度3Q 3.30円 P/L：2020年度3Q 3.41円、2021年度3Q 3.45円

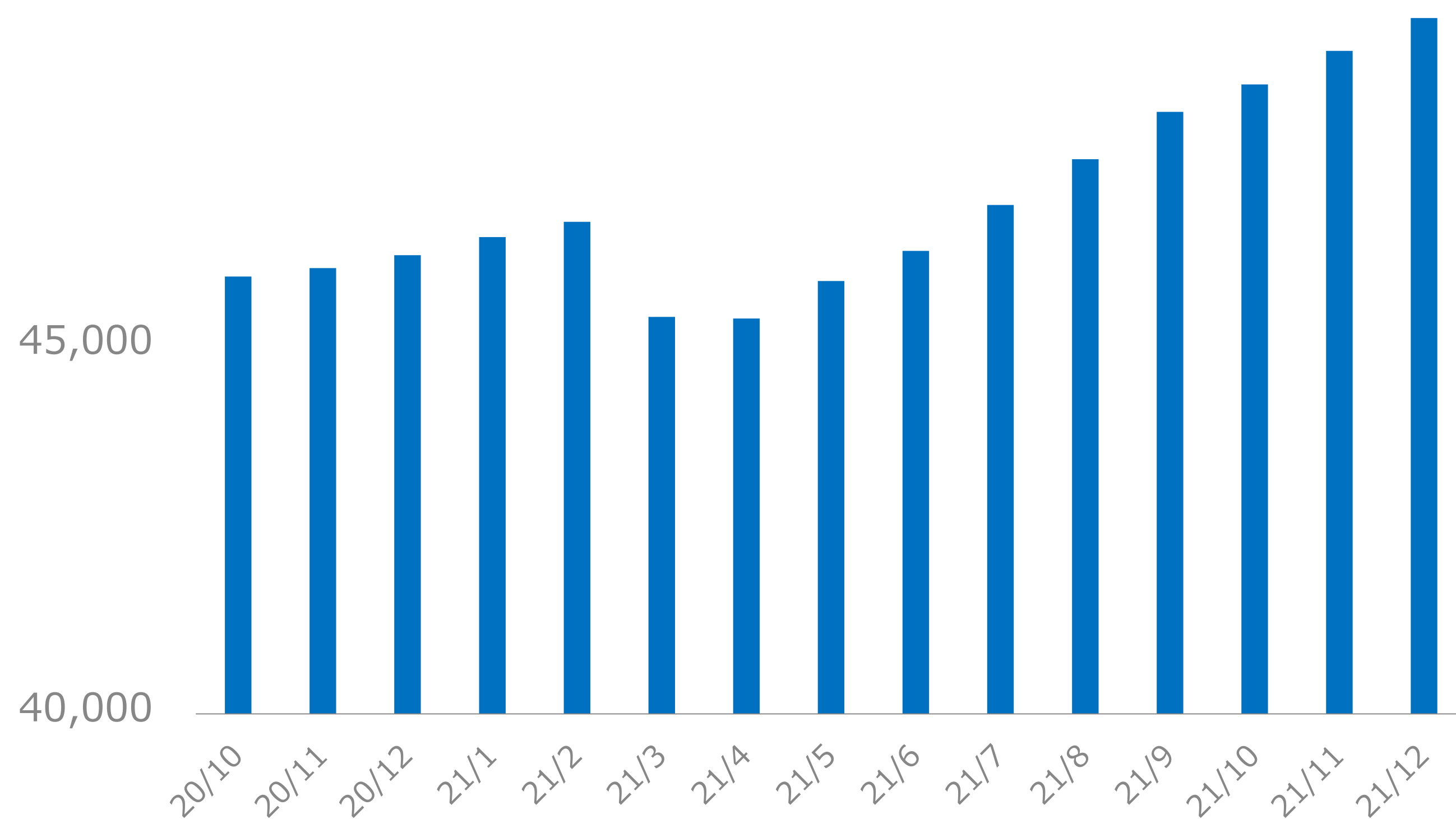
アイフルビジネスファイナンス

- 事業者ローン残高は前年同期比7.7%増と回復基調
- 営業利益は貸倒関連費用、広告宣伝費の増加を主要因として前年同期比26.8%減

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	58,665	54,408	-7.3%
有担保ローン	14,147	6,458	-54.4%
事業者ローン	44,517	47,949	7.7%
口座数 (千)	25	25	-1.0%
営業収益	4,949	4,785	-3.3%
営業利益	2,355	1,723	-26.8%
経常利益	2,371	1,732	-26.9%
当期純利益	1,468	1,059	-27.8%

事業者ローン 残高月次推移

単位：百万円
50,000



※ 診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継しております。

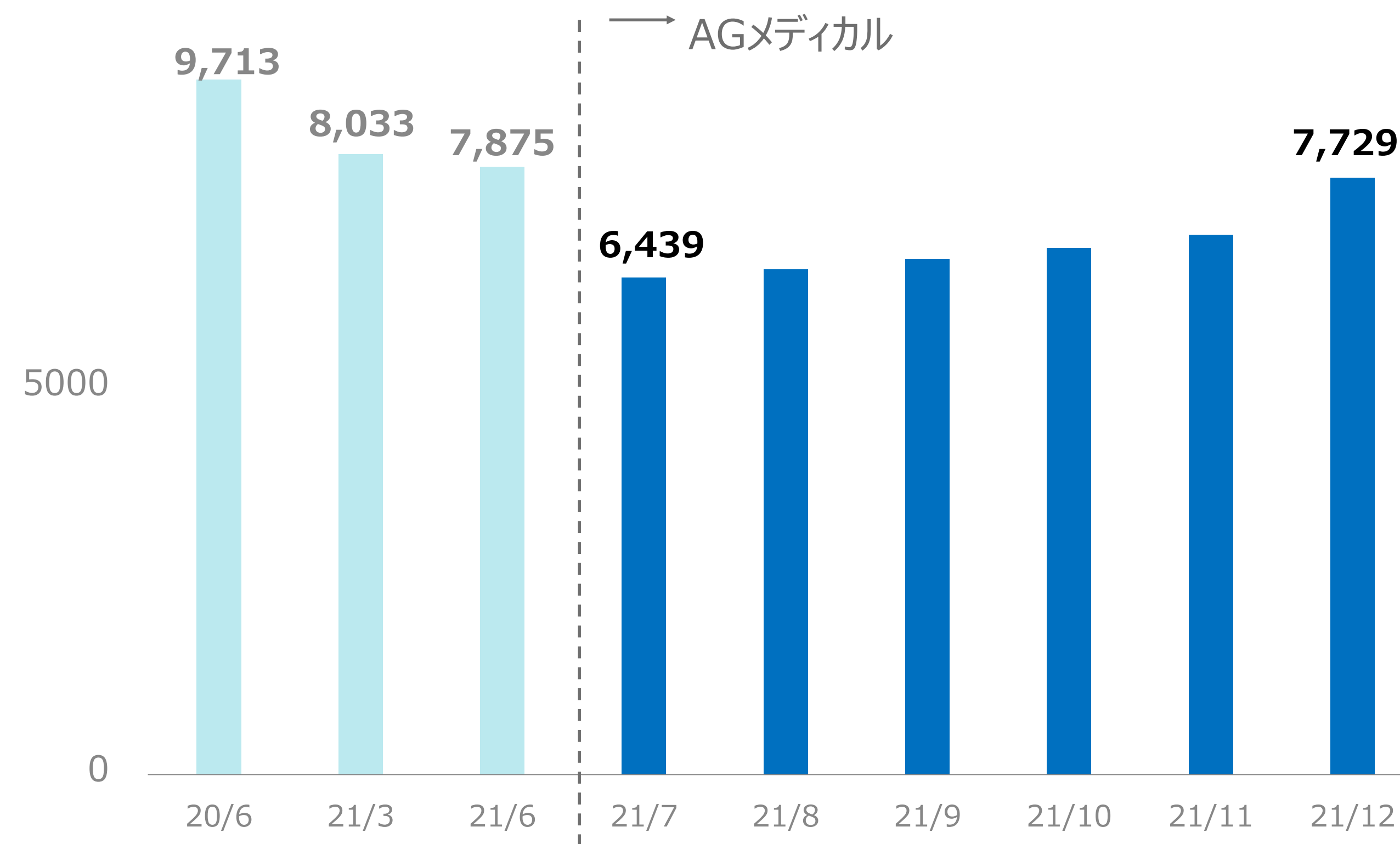
AGメディカル

- アイフルビジネスファイナンスより診療報酬等担保ローン事業を分社化し、21年7月より事業開始
- 営業債権残高は新型コロナ影響を受けるも7月以降は回復傾向

単位：百万円	21/12
営業貸付金残高	7,729
口座数（単位：件）	427
営業収益	310
営業利益	124
経常利益	124
当期純利益	81

診療報酬担保ローン 残高月次推移

単位：百万円



※2021年6月末まではアイフルビジネスファイナンスの営業債権として計上されています。

※2021年7月以降は解約債権ならびに一部商品を除き、AGメディカルが承継しております。

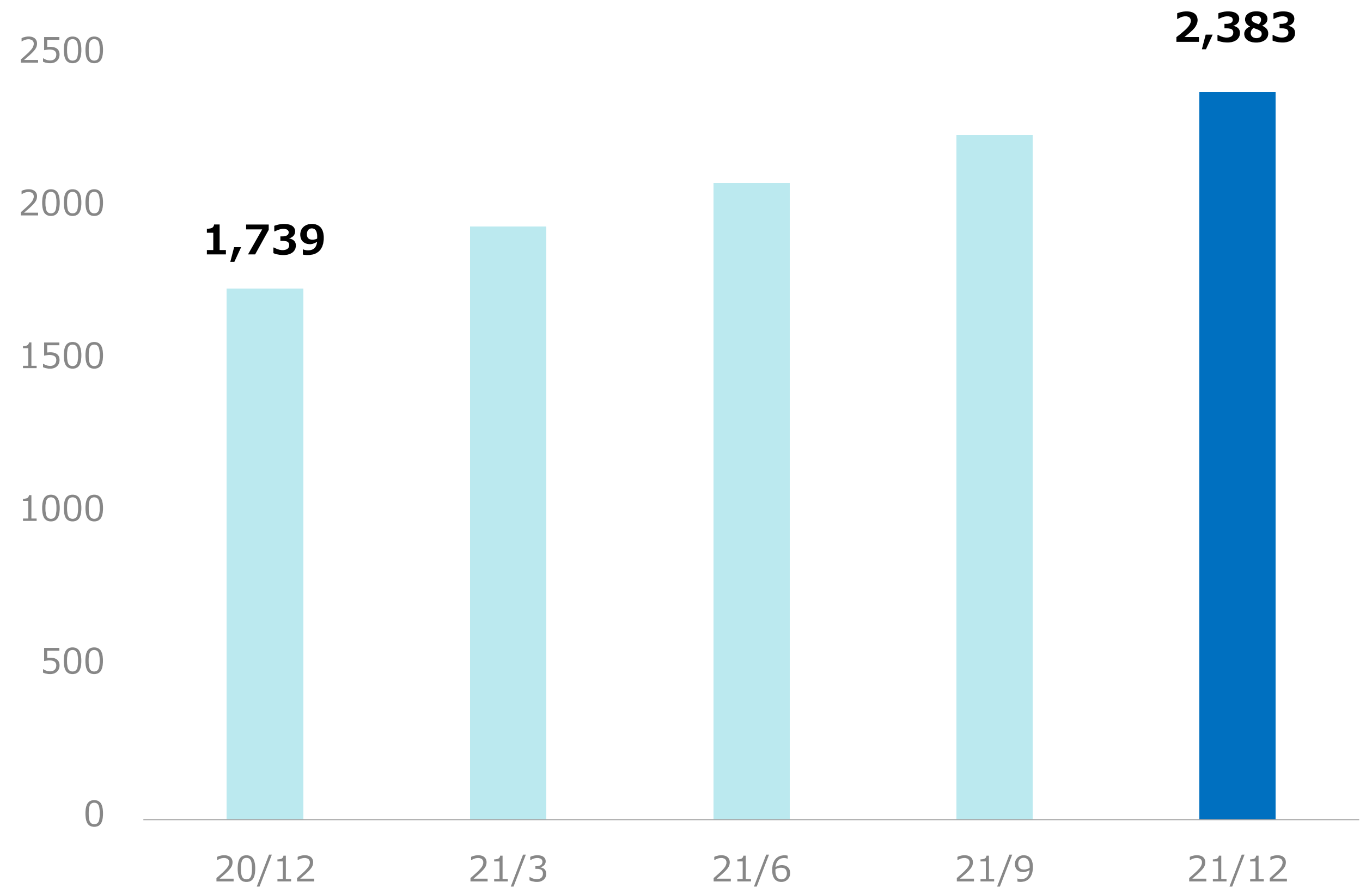
アイフルギャランティー

- アイフルの有人店舗の営業組織化に伴う営業活動強化の効果もあり、割賦売掛金残高、加盟店数は順調に推移
- 買上、残高規模拡大により大幅な増収増益

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減率
割賦売掛金残高	7,188	12,605	75.4%
支払承諾見返	188	140	-25.3%
営業収益	564	932	65.2%
営業利益	198	410	107.1%
経常利益	199	410	106.1%
当期純利益	129	261	101.1%

加盟店数四半期推移

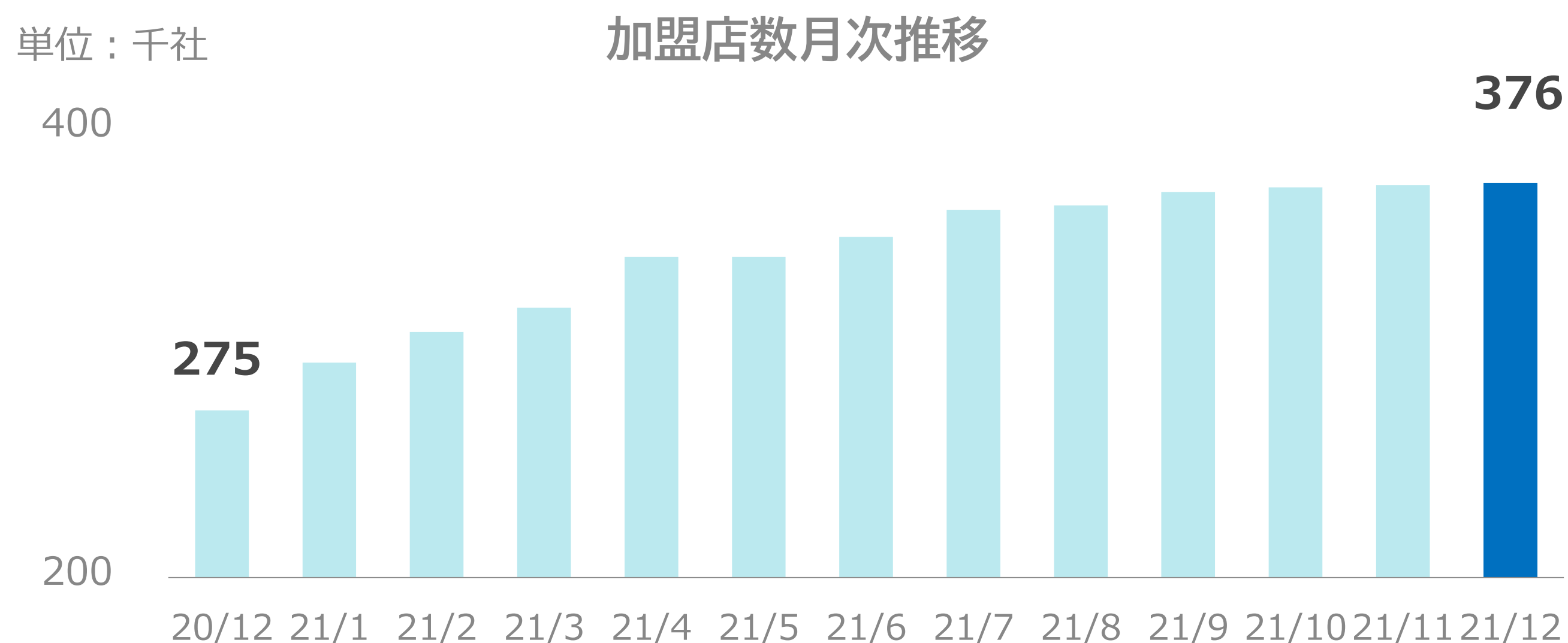
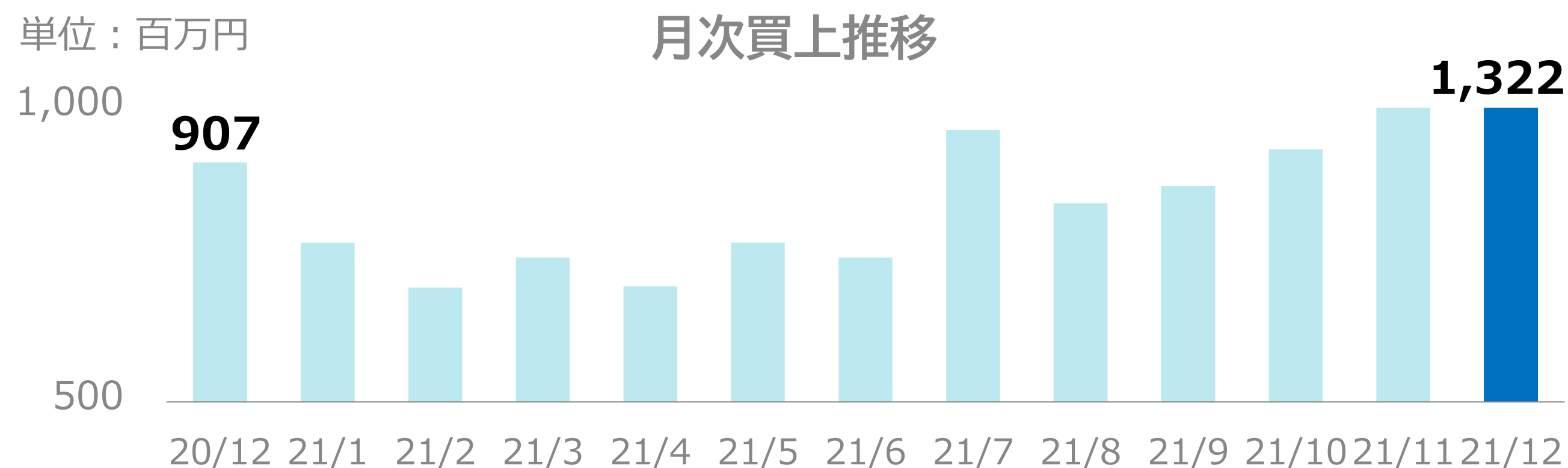
単位：社



AGミライバライ

- 加盟店数、買上額の増加に伴い、営業収益は前年同期比43.2%増の454百万円

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減率
買上実績	5,851	8,189	39.9%
営業収益	317	454	43.2%
営業利益	-120	-301	-
経常利益	-120	-301	-
当期純利益	-106	-290	-



※ A Gミライバライは2020年6月1日に設立し、事業を開始しております。

※ 2020年5月以前の買上実績はライフカードにて計上されています。

05 参考資料

営業収益・営業費用（連結）

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結営業収益	95,863	98,492	2,628	2.7%
営業貸付金利息	55,679	57,040	1,361	2.4%
信用購入あっせん収益	14,663	14,759	95	0.7%
信用保証収益	10,959	11,743	784	7.2%
買取債権回収高	1,160	663	-496	-42.8%
償却債権取立益	5,159	5,656	496	9.6%
その他の営業収益	8,242	8,629	387	4.7%
連結営業費用	80,261	79,889	-371	-0.5%
金融費用	5,444	5,300	-144	-2.6%
債権買取原価	800	-	-	-
貸倒関連費用	27,276	25,991	-1,285	-4.7%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	7,281	10,522	3,240	44.5%
広告宣伝費	2,215	8,229	6,014	271.5%
販売促進費	5,066	2,292	-2,773	-54.8%
人件費	12,657	12,547	-110	-0.9%

営業費用・利益（連結）

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
その他営業費用	26,698	25,381	-1,317	-4.9%
支払手数料	11,071	11,422	350	3.2%
通信費	2,164	2,254	90	4.2%
ポイント引当金繰入額	1,848	-	-	-
消費税	3,551	3,842	291	8.2%
減価償却費	2,472	2,494	22	0.9%
消耗品費・修繕費	2,009	1,859	-149	-7.5%
地代家賃	1,347	1,339	-8	-0.6%
賃借料	279	276	-3	-1.3%
営業利益	15,602	18,602	3,000	19.2%
営業外収益	1,461	458	-1,003	-68.6%
営業外費用	105	97	-7	-7.1%
経常利益	16,958	18,963	2,004	11.8%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	91	-	-	-
税引前利益	16,867	18,963	2,096	12.4%
非支配株主に帰属する当期純利益	-187	69	256	-
親会社株主に帰属する当期純利益	16,164	18,161	1,997	12.4%

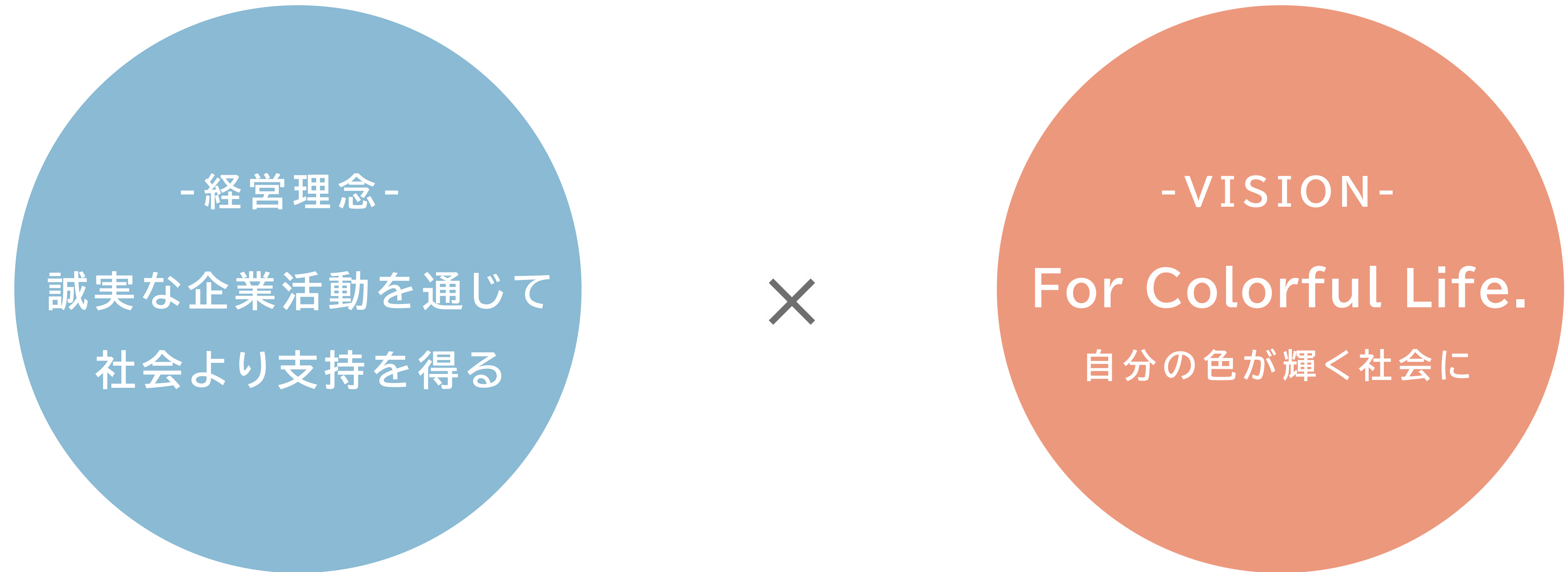
決算概要（アイフル単体）

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	59,303	62,252	2,948	5.0%
営業貸付金利息	44,795	47,216	2,421	5.4%
信用保証収益	8,398	8,530	132	1.6%
営業費用	49,483	49,943	460	0.9%
金融費用	4,108	4,130	21	0.5%
貸倒関連費用	20,915	19,567	-1,348	-6.4%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	5,885	7,323	1,438	24.4%
広告宣伝費	2,024	7,116	5,092	251.5%
販売促進費	3,860	206	-3,654	-94.6%
人件費	7,701	7,542	-158	-2.1%
その他費用	10,872	11,379	506	4.7%
営業利益	9,820	12,308	2,488	25.3%
営業外収益	1,228	1,161	-66	-5.4%
営業外費用	46	21	-25	-54.6%
経常利益	11,001	13,448	2,446	22.2%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	91	-	-	-
当期純利益	11,807	13,177	1,370	11.6%

営業実績（アイフル単体）

単位：百万円	20/12	21/12	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業債権残高	560,553	604,484	43,930	7.8%
営業貸付金残高	432,664	452,723	20,059	4.6%
無担保ローン	419,900	440,609	20,709	4.9%
有担保ローン	5,247	3,783	-1,463	-27.9%
事業者ローン	7,516	8,329	813	10.8%
信用保証残高	118,951	142,425	23,474	19.7%
新規顧客数（件）	115,729	153,074	37,345	32.3%
無担保ローン	115,671	153,004	37,333	32.3%
口座数（千件）	926	959	33	3.6%
無担保ローン	914	948	33	3.7%
営業貸付金利回り	14.3%	14.5%	0.2pt	-
無担保ローン18%以下残高占有率	99.1%	99.3	0.2pt	-
貸倒発生額	17,493	16,950	-542	-3.1%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	16,787	16,366	-420	-2.5%
貸倒償却率	3.1%	2.8%	-0.3pt	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	3.0%	2.7%	-0.3pt	-

サステナビリティ基本方針



私たちアイフルグループは、
あらゆる人が自分らしくいられる未来を創造していくために
「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

主な取り組み一覧

重点課題	テーマ	主な取り組み・事業	関連するSDGs
環境面	脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の管理 ・クールビズ、ウォームビズの取り組み ・COOL CHOICEへの賛同 ・業務効率化への取り組み ・複合機の台数削減 	  
	資源循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別、リサイクル ・緑の募金活動 ・グリーン商品、エコマーク商品の購入推進 ・カード明細のWEB化 	 
社会面	社会の期待に応える商品づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な資金ニーズに応える商品開発 ・お客様の声の収集とサービス品質の向上 ・AIFUL-CSIRT(サイバー攻撃対策チーム) 	
	職場および労働環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人事大綱の制定 ・ハラスメントホットライン ・従業員の意識、満足度調査の実施 ・健康診断、ストレスチェックの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成制度の拡充 ・フレックスタイム制度 ・テレワーク、時差出勤の導入 ・防災訓練の実施 
	ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プラチナくるみん認定取得 ・女性採用の拡大 ・女性の育成、登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・定年再雇用制度 ・障害者の雇用 
	社会貢献・地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動 ・AED設置、救命講習 ・大規模災害に伴う寄付 ・新型コロナウイルス対策支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャリティーコースでポイント寄付 ・クレジットカードを通じた社会貢献 ・ハッカソンへの協賛   

アイフルグループの事業

事業の多角化により、全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造を目指します

ローン・保証



事業者ローン



クレジット・保証



クレジット



後払い決済



クラウドファンディング



ベンチャーキャピタル



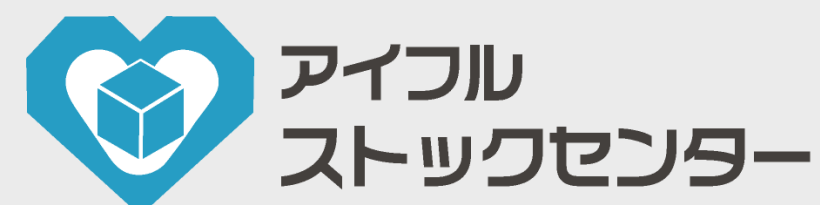
サービサー



企業再生



倉庫業



家賃保証



海外



－ 本資料に関する注意事項 －

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。